

# 業務報告

令和元年度

埼玉県産業技術総合センター



# 令和元年度業務報告目次

<b>1</b>	<b>埼玉県産業技術総合センター概要</b> .....	<b>1</b>
1.1	沿革.....	1
1.2	組織と事務分掌.....	2
1.3	職員.....	3
1.4	所在地、土地建物.....	4
1.5	会計.....	5
1.6	貸会議室等.....	6
1.6.1	多目的ホール、会議室の使用料等.....	6
1.6.2	多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数.....	6
1.6.3	多目的ホール、会議室の利用者別利用件数.....	6
1.6.4	多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数.....	6
1.7	試験研究設備の整備状況.....	7
<b>2</b>	<b>技術支援</b> .....	<b>8</b>
2.1	技術相談・技術指導.....	8
2.1.1	職員による技術相談・技術指導.....	8
2.1.2	技術アドバイザー指導事業.....	10
2.1.3	現場改善・製品化支援事業.....	11
2.1.4	新技術・新製品開発のためのデザイン力強化事業.....	11
2.1.5	次世代型ものづくり製品開発支援事業.....	12
2.2	依頼試験.....	13
2.2.1	依頼試験.....	13
2.2.2	放射線測定依頼試験.....	14
2.3	機器開放.....	15
2.3.1	機器開放.....	15
2.3.2	機器操作技術認定研修.....	16
2.4	AI・IoT技術支援事業.....	16
2.4.1	スマートものづくり支援事業.....	16
2.4.2	AI活用支援.....	16
2.4.3	IoT利用技術研究会.....	16
2.4.4	地方版IoT推進ラボ.....	16
2.5	ナノカーボンプロジェクト推進事業.....	16
2.6	新エネルギープロジェクト推進事業.....	17
2.7	ロボットプロジェクト推進事業.....	17
2.8	技術支援等による実用化・商品化.....	17
2.9	培養酵母の頒布.....	17
<b>3</b>	<b>研究開発</b> .....	<b>18</b>
3.1	研究開発.....	18
3.1.1	政策的研究課題.....	18
3.1.2	受託研究等.....	19
3.1.3	科学研究費助成事業（科研費）.....	19
3.2	客員研究員.....	20
3.3	研究成果の公表.....	20
3.3.1	センター主催の発表.....	20
3.3.2	学会等への発表（国際会議含む）.....	21
3.4	研究課題の評価.....	22
3.4.1	研究評価委員会.....	22

3.4.2	中間評価	22
<b>4</b>	<b>研究開発支援</b>	<b>23</b>
4.1	産学官連携の推進	23
4.1.1	産学官連携推進について	23
4.1.2	産学官連携関連展示会(主催事業)	23
4.1.3	産学官連携に関連する展示会	24
4.2	助成制度への取り組み	24
4.2.1	研究開発型企業支援事業	24
4.2.2	埼玉県産業技術総合センターが参加する産学官共同研究実施実績	25
4.3	特許の取得推進とその活用	26
4.3.1	産業財産権の一覧	26
4.3.2	実施許諾	28
<b>5</b>	<b>交流</b>	<b>29</b>
5.1	異業種交流支援事業	29
5.1.1	産学官交流プラザ	29
5.1.2	さきたま利根テクノプラザ(STTEP)	30
5.2	新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)	30
5.2.1	鋳物技術委員会	30
5.2.2	埼玉県ものづくり研究会	30
5.2.3	埼玉県熱処理技術研究会	31
5.2.4	清酒製造技術研究会	31
5.2.5	高付加価値食品研究会	32
5.3	首都圏連合推進事業(公設試版)【研究発表：他県を含む】	32
5.3.1	首都圏公設試連携推進会議の開催 2回(第58回～第59回)	32
5.3.2	首都圏公設試連携推進会議(TKFオープンフォーラム)の開催(第13回)	32
5.3.3	研究発表者相互派遣事業	32
5.3.4	産業交流展2019への参加	33
5.3.5	パートナー・グループ事業	33
5.3.6	TKFミニインターンシップ事業	33
5.3.7	広域首都圏輸出製品技術支援センター(略称:MTEP)	33
5.3.8	地域未来投資促進法に基づく連携支援事業	34
5.4	RINGS NET(新潟、群馬、埼玉 3県公設試連携)	34
5.4.1	担当分野別交流会等の開催	34
5.5	講演会等講師派遣	35
5.6	審査会等への派遣	37
5.7	技術評価	39
5.8	会議等への参加	40
5.9	次世代自動車支援事業の運営支援	46
5.9.1	部会及び各研究会参加企業数	46
5.9.2	研究会等の名称及び担当者一覧表	46
5.9.3	各研究会の概要	46
<b>6</b>	<b>情報提供</b>	<b>47</b>
6.1	技術普及業務	47
6.1.1	SAITEC オープンラボ	47
6.1.2	SAITEC 北部研究所研究成果発表会	47
6.1.3	研究報告	47
6.2	利用促進	47
6.2.1	業務報告	47
6.2.2	インターネットによる技術情報の提供	47
6.2.3	記者発表	48
6.2.4	マスメディア報道	48

<b>7</b>	<b>起業化支援</b> .....	<b>49</b>
7.1	入居企業.....	49
7.2	支援実績.....	49
<b>8</b>	<b>人材育成</b> .....	<b>50</b>
8.1	研修生の受け入れ.....	50
8.1.1	中小企業等研究者養成研修事業 .....	50
8.1.2	2019年度鋳造カレッジ事業（関東地区）インターンシップ.....	50
8.2	技術講習会、講演会等の開催 .....	51
8.3	技術競技会.....	58
8.3.1	埼玉県鋳造技術コンクール.....	58
8.3.2	令和元酒造年度春季清酒鑑評会 .....	59
8.4	科学技術体験学習の実施.....	59
8.4.1	スーパーサイエンスハイスクール事業 .....	59
<b>9</b>	<b>その他の事業</b> .....	<b>60</b>
9.1	職員研修.....	60
9.2	運営委員会の開催.....	65
9.2.1	開催状況 .....	65

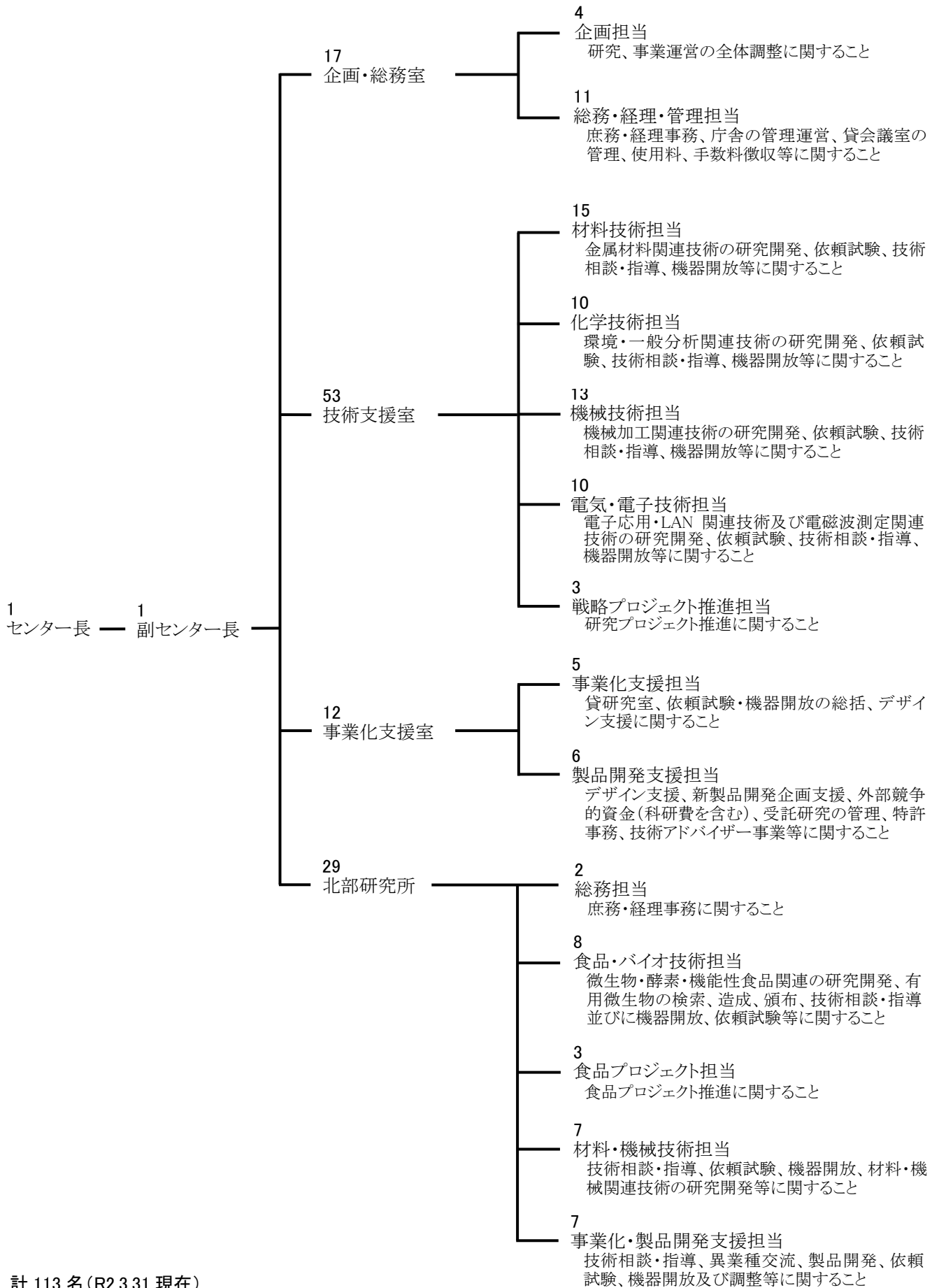


# 1 埼玉県産業技術総合センター概要

## 1.1 沿革

大正10年	埼玉県熊谷工業試験場設立、庶務部、染色部及び機織部の3部を設置
大正11年	整理部を増設し4部となる
大正12年	図案部を増設し5部となる
昭和 5年	醸造部を増設し(昭和21年に技術部に改称)6部となる 埼玉県秩父工業試験場設立、熊谷工業試験場の機織部及び図案部を移転
昭和 6年	埼玉県熊谷工業試験場浦和分場を設置し整理部を移転
昭和 8年	埼玉県川口鋳物工業試験場設立
昭和 9年	浦和分場を埼玉県染色試験場と改称し熊谷工業試験場の染色部を移転、 熊谷工業試験場は名称を埼玉県醸造試験場と改称
昭和11年	埼玉県小川製紙研究所設立
昭和12年	埼玉県仏子染織指導所設立 埼玉県秩父工業試験場を埼玉県秩父染織指導所と改称 埼玉県川口鋳物工業試験場を埼玉県川口重工業指導所と改称 埼玉県醸造試験場に染色部を再設置し(昭和18年に廃止)、埼玉県熊谷醸造指導所と改称 埼玉県小川製紙研究所を埼玉県小川製紙指導所と改称
昭和19年	埼玉県熊谷醸造指導所を埼玉県醸造指導所と改称 埼玉県秩父染織指導所を埼玉県秩父工業指導所と改称 埼玉県仏子染織指導所を埼玉県繊維工業指導所と改称 埼玉県小川製紙指導所を埼玉県製紙工業指導所と改称
昭和20年	埼玉県川口重工業指導所を埼玉県鋳物指導所と改称
昭和24年	埼玉県行田繊維工業指導所設立
昭和31年	埼玉県醸造指導所を埼玉県醸造試験場と改称 埼玉県秩父工業指導所を埼玉県秩父繊維工業試験場と改称 埼玉県繊維工業指導所を埼玉県繊維工業試験場と改称 埼玉県行田繊維工業指導所を埼玉県行田繊維工業試験場と改称 埼玉県製紙工業指導所を埼玉県製紙工業試験場と改称 埼玉県鋳物指導所を埼玉県鋳物工業試験場と改称
昭和36年	埼玉県デザインセンターを大宮市の埼玉県商工会館内に設置
昭和38年	埼玉県鋳物工業試験場を川口市本町から川口市芝に移転し、埼玉県鋳物機械工業試験場と改称
昭和42年	埼玉県工芸試験場を浦和市に設立、デザインセンターを廃止
昭和47年	醸造試験場の建設工事竣工、埼玉県食品工業試験場と改称
昭和58年	埼玉県工芸試験場を埼玉県工業技術研究所に改称 埼玉県行田繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場に、埼玉県繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場入間支場に、埼玉県秩父繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場秩父支場に改組
平成 7年	鋳物機械工業試験場において、新技術事業団(現 (独)科学技術振興機構)及び科学技術庁金属材料研究所との共同研究を開始するため、新技術事業団埼玉研究室及び新技術事業団のプレハブ実験棟を設置
平成10年	5研究機関7施設を再編・統合し、埼玉県工業技術センター設立 本所(川口市・旧鋳物機械工業試験場)、南部研究所(浦和市・旧工業技術研究所)及び北部研究所(熊谷市・旧食品工業試験場)の3施設を設置
平成15年	埼玉県工業技術センターを廃止し、埼玉県産業技術総合センター設立 埼玉県産業技術総合センター(川口市)及び埼玉県産業技術総合センター 北部研究所(熊谷市・旧埼玉県工業技術センター北部研究所)の2施設を設置

## 1.2 組織と事務分掌



計 113 名 (R2.3.31 現在)



### 1.3 職員

センター長 (事)	中村 雅 範
副センター長(兼)企画・総務室長 (事)	増田 文 之

◆本所

<b>企画・総務室</b>			
副室長 (技)	小口 正 浩	副室長 (事)	追川 和 夫
<b>企画担当</b>		担当部長 (技)	宇野 彰 一
主任研究員 (技)	田中 英 次	主 任 (技)	鈴木 啓 介
技 師	大澤 直 幸		
<b>総務・経理・管理担当</b>		担当課長 (事)	吉川 満
担当課長 (事)	五百扇 久 男	主 任 (事)	清水 俊 子
主 任 (事)	島村 洋 子	専 門 員 (事)	鈴木 達
嘱託(非常勤)	酒井 誠	嘱託(非常勤)	伊藤 和 靖
嘱託(非常勤)	武田 祐 子	嘱託(非常勤)	石原 正 子
嘱託(非常勤)	斉藤 留 美	嘱託(非常勤)	橋本 章 世
<b>技術支援室</b>		室 長 (技)	細野 光 広
副室長(兼)戦略プロジェクト推進担当部長 (技)	出口 貴 久		
<b>材料技術担当</b>		担当部長 (技)	鈴木 昌 資
主任研究員 (技)	小熊 広 之	専門研究員 (技)	清水 宏 一
専門研究員 (技)	常木 裕 己	専門研究員 (技)	菊池 和 尚
専門研究員 (技)	森本 良 一	専門研究員 (技)	鶴 蘭 大
主 任 (技)	鳥羽 遼 子	主任専門員 (技)	永野 正 明
技 師	小林 達 哉	技 師	上杉 卓 矢
技 師	周 雲 帆	専 門 員 (技)	澁谷 康 彦
専 門 員 (技)	永井 寛	専 門 員 (技)	麻生 信 之
<b>化学技術担当</b>		担当部長 (技)	佐野 勝
主任研究員 (技)	熊谷 知 哉	専門研究員 (技)	矢澤 貞 春
専門研究員 (技)	灘野 朋 美	専門研究員 (技)	坂本 大 輔
専門研究員 (技)	鈴木 理 博	主 任 (技)	須川 真希代
主 任 (技)	伊藤 幸 希	技 師	焼田 裕 之
技 師	荻野 倭 子		
<b>機械技術担当</b>		主任研究員 (技)	南部 洋 平
専門研究員 (技)	島崎 景 正	専門研究員 (技)	宗形 隆 史
専門研究員 (技)	増子 陽 一	専門研究員 (技)	山田 岳 大
専門研究員 (技)	落合 一 裕	専門研究員 (技)	信本 康 男
主 任 (技)	蓮 俊 介	主 任 (技)	岩崎 翼
主 任 (技)	都知木 邦 裕	技 師	廣島 啓 太
技 師	田中 拓 也	技 師	横山 雄 哉
<b>電気・電子技術担当</b>		担当部長 (技)	安藤 昌 弘
主任研究員 (技)	能戸 崇 行	主任研究員 (技)	鈴木 浩 之
専門研究員 (技)	本多 春 樹	専門研究員 (技)	白石 知 久
主 任 (技)	森田 寛 之	主 任 (技)	香西 良 彦
主 任 (技)	成田 祐 治	技 師	増 渕 維 摩
技 師	岡崎 祥 吾		
<b>戦略プロジェクト推進担当</b>		専門研究員 (技)	栗原 英 紀
専門研究員 (技)	半田 隆 志	主 任 (技)	稲本 将 史

事業化支援室		室 長 (技)	福 島 泰 年
事業化支援担当		担 当 部 長 (事)	小 板 橋 直 人
主任専門員 (事)	今 橋 幸 夫	主任専門員 (技)	飽 津 彰
嘱託(非常勤)	赤 坂 拓 郎	嘱託(非常勤)	大 沼 勇 樹
製品開発支援担当		専 門 研 究 員 (技)	原 田 雅 典
主 任 (技)	岡 林 美 由 貴	主 任 (技)	中 澤 赳 史
主任専門員 (技)	影 山 和 則	主任専門員 (技)	卷 島 秀 男
技 師	山 崎 彰 太		

◆北部研究所

所 長 (技)	小 島 登 貴 子		
副 所 長 (技)	荻 野 重 人		
総務担当		担 当 課 長 (事)	山 崎 守 広
専 門 員 (事)	沼 上 由 紀 夫		
食品・バイオ技術担当		担 当 部 長 (技)	横 堀 正 敏
専 門 研 究 員 (技)	常 見 崇 史	専 門 研 究 員 (技)	富 永 達 矢
主 任 (技)	和 田 健 太 朗	主 任 (技)	海 野 ま り え
主 任 (技)	飯 塚 真 也	主 任 (技)	大 西 健 太
技 師	齋 藤 健 太		
食品プロジェクト担当		担 当 部 長 (技)	仲 島 日 出 男
専 門 研 究 員 (技)	樋 口 誠 一	主 任 (技)	成 澤 朋 之
材料・機械技術担当		担 当 部 長 (技)	奥 野 慎
専 門 研 究 員 (技)	進 藤 久 宜	専 門 研 究 員 (技)	秋 山 稔
主 任 (技)	高 橋 勝	技 師	金 木 祐 介
技 師	笠 原 章 裕	専 門 員 (技)	小 林 茂
事業化・製品開発支援担当		担 当 部 長 (技)	原 田 勝 利
主 任 (事)	本 田 正 幸	主 任 (技)	山 川 翔 平
主任専門員 (技)	中 島 規 之	専 門 員 (技)	宮 原 進
専 門 員 (技)	山 口 葉 子	専 門 員 (技)	高 橋 広 子

(R2.3.31 現在)

## 1.4 所在地、土地建物

◆ 埼玉県産業技術総合センター

所在地 川口市上青木三丁目12番18号

土 地 18, 352. 58 平方メートル

建 物

埼玉県産業技術総合センター 27, 287. 63 平方メートル

埼玉県生活科学センター 4, 420. 30 平方メートル

川口市立科学館 3, 784. 61 平方メートル

合 計 35, 492. 54 平方メートル

構 造 地上9階/地下1階

◆ 北部研究所

所在地 熊谷市末広二丁目133番地

土 地 5, 923. 30 平方メートル

建 物

本 館 1, 687. 92 平方メートル

試験棟 494. 27 平方メートル

新 館 602. 84 平方メートル

試験棟 312. 86 平方メートル

その他 73. 60 平方メートル

合 計 3, 171. 49 平方メートル

## 1.5 会計

### ◆歳入

(単位:円)

科 目	本 所	北部研究所	合 計
使用料及び手数料	247,364,785	24,871,557	272,236,342
使用料	173,180,085	7,265,387	180,445,472
総務使用料	51,725,153	433,667	52,158,820
商工使用料	121,454,932	6,831,720	128,286,652
手数料	74,184,700	17,606,170	91,790,870
商工手数料	74,184,700	17,606,170	91,790,870
国庫支出金	0	0	0
国庫補助金	0	0	0
商工費国庫補助金	0	0	0
財 産 収 入	17,507,352	574,000	18,081,352
財産運用収入	17,507,352	0	17,507,352
財産貸付収入	17,507,352	0	17,507,352
財産売払収入	0	574,000	574,000
物品売払収入	0	0	0
生産物売払収入	0	574,000	574,000
諸 収 入	30,326,296	709,835	31,036,131
受託事業収入	2,952,900	0	2,952,900
商工受託事業収入	2,952,900	0	2,952,900
雑 入	27,373,396	709,835	28,083,231
違約金及び延納利息	0	0	0
雑 入	27,373,396	709,835	28,083,231
合 計	295,198,433	26,155,392	321,353,825

### ◆歳出

(単位:円)

科 目	本 所	北部研究所	合 計
総 務 費	48,138,533	976,868	49,115,401
総務管理費	240,984	976,868	1,217,852
一般管理費	121,990	45,000	166,990
人事管理費	118,994	667,016	786,010
財産管理費	0	264,852	264,852
県民費	47,897,549	0	47,897,549
消費者対策費	47,897,549	0	47,897,549
商 工 費	602,253,073	60,578,386	662,831,459
商工業費	602,253,073	60,578,386	662,831,459
商工総務費	3,212,757	2,575,187	5,787,944
商工振興費	40,819,329	498,298	41,317,627
産業技術総合センター費	558,220,987	57,504,901	615,725,888
農林水産業費	0	50,000	50,000
農 業 費	0	50,000	50,000
農業研究費	0	50,000	50,000
合 計	650,391,606	61,605,254	711,996,860

## 1.6 貸会議室等

### 1.6.1 多目的ホール、会議室の使用料等

(円)

階	区分 施設名	面積 (m <sup>2</sup> )	定員 (人)	午 前	午 後	夜 間	超 過 (1時間)
1	多目的ホール1	199.64	130	6,460	8,620	6,460	2,140
1	多目的ホール2	273.92	170	8,880	11,800	8,880	2,950
3	3A会議室	66.46	30	2,130	2,860	2,130	700
3	3B会議室	66.46	30	2,130	2,860	2,130	700
4	4A会議室	66.46	33	2,130	2,860	2,130	700
4	4B会議室	66.46	33	2,130	2,860	2,130	700
4	4C会議室	70.92	33	2,290	3,050	2,290	760

### 1.6.2 多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数

	利用件数(件)				利用人数(人)			
	午 前	午 後	夜 間	計	午 前	午 後	夜 間	計
多目的ホール1	153	166	77	396	31,154	29,825	15,777	76,756
多目的ホール2	173	187	91	451	33,603	32,825	17,552	83,980
3A会議室	120	159	58	337	12,772	13,428	8,116	34,316
3B会議室	136	151	72	359	13,066	13,488	8,239	34,793
4A会議室	130	160	91	381	12,354	12,909	8,409	33,672
4B会議室	123	154	80	357	12,134	12,705	8,182	33,021
4C会議室	100	128	70	298	11,656	12,147	8,038	31,841
合 計	935	1,105	539	2,579	126,739	127,327	74,313	328,379

### 1.6.3 多目的ホール、会議室の利用者別利用件数

	県	川口市	その他 官公庁	公社 公団	入居商 工団体	他の商 工団体	民間 事業所	その他	合計
件 数	384	412	699	11	155	95	643	180	2,579
百分比(%)	14.9%	16.0%	27.1%	0.4%	6.0%	3.7%	24.9%	7.0%	100.0%

### 1.6.4 多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数

	会議	研修会	講演会	大会	展示会	その他	合計
件 数	272	471	31	11	302	1,492	2,579
百分比(%)	10.5%	18.3%	1.2%	0.4%	11.7%	57.9%	100.0%

## 1.7 試験研究設備の整備状況

### 新規購入機械器具

品名	数量	銘柄・規格等	設置場所
小型射出成形機	1	Rambaldi 社製 babyplast6/12P	本所
波長分散型蛍光X線分析装置 ※1	1	(株)リガク ZSX PrimusIV	本所
高速精密切断機	1	ケメット・ジャパン(株) MECATOME T330	本所
非接触微細形状測定機	1	(株)日立ハイテクサイエンス VS1800	本所
撮像システム	1	OMRON(株)ほか FHシリーズほか	本所
AE解析システム 一式	1	日本フィジカルアコースティクス(株)ほか AE計測モジュールほか	本所
ゲージブロック(呼び寸法 600mm)	1	(株)ミツトヨ 611840-02	本所
攪拌・脱泡ミキサー	1	(株)シンキー ARE-30	本所
角度可変スライサー	1	ジャスコエンジニアリング(株) HW-1	本所
卓上超音波洗浄機	1	(株)エスエヌディ US-20KS	北部研究所
冷凍機付きインキュベータ	2	(株)PHC MIR-154-PJ	北部研究所
超短焦点プロジェクター	1	リコー PJ WX4152	北部研究所
アルコライザーSAKE システム	1	(株)アントンパール・ジャパン Alcolyzer SAKE ME/DMA4100M	北部研究所
フリーザー	1	(株)PHC MDF-MU500H-PJ	北部研究所

※1 公益財団法人 JKA の「公設試験研究所設備拡充補助事業」による

## 2 技術支援

中小企業の技術支援のため、技術相談・技術指導、企業からの依頼に応じた依頼試験、試験研究機器の開放等を行うとともに、スマートものづくり基盤の構築を支援した。

### 2.1 技術相談・技術指導

中小企業の生産活動における技術的課題の解決、新製品や新商品の開発等を支援するため、当センター職員による相談・指導及び外部の技術専門家、技術アドバイザー等による技術相談・指導を実施した。

#### 2.1.1 職員による技術相談・技術指導

◆本所

分類	項目	相談件数
機械関連	切削に関すること	321
	特殊加工に関すること	1,472
	設計に関すること	28
	精密測定に関すること	3,447
鋳物関連	鉄鋳物に関すること	129
	非鉄鋳物に関すること	131
	鋳型・鋳造方案に関すること	43
	鋳物不良対策に関すること	73
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	136
	腐食、防食に関すること	504
	熱処理に関すること	97
	塗装技術に関すること	45
材料試験・組織等	成分分析(金属)に関すること	988
	成分分析(非金属)に関すること	1,821
	材料強度等に関すること	1,450
	材料の物性、工業規格に関すること	820
	顕微鏡組織観察等に関すること	793
	材料のクレーム対策に関すること	136
	非破壊検査に関すること	965
電気・電子・制御関連	自動化、省力化に関すること	35
	制御技術に関すること	1
	電気、電子技術に関すること	2,599
窯業関連	窯業(製造)技術に関すること	0
	セラミックス技術に関すること	8
プラスチック関連	プラスチック技術に関すること	1,074
	接着・複合化技術に関すること	82
デザイン関連	商品企画に関すること	152
	プロダクトデザインに関すること	114
	グラフィックデザインに関すること	38
福祉技術関連	福祉・リハビリテーション用具に関すること	218
環境技術関連	再資源化に関すること	1
	廃棄物処理に関すること	1
	環境等に関すること	1
	環境浄化技術に関すること	14
	省エネ技術に関すること	5
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	17
	機器操作に関すること	337
	製品開発に関すること	68
	生産技術に関すること	0
	材料・製品試験に関すること	3,518
	講習会、研修会等に関すること	79
	アドバイザー指導等に関すること	91
	異業種交流に関すること	9
	情報検索に関すること	0
	特許に関すること	4
	制度融資、補助金等に関すること	44
その他上記以外の事項	389	
計 (うち実地指導件数)		22,298 (1,993)

## ◆北部研究所

分類	項目	相談件数
分析関連	組成・物性に関すること	77
	素材分析に関すること	11
	成分分析(金属)に関すること	244
	成分分析(非金属)に関すること	147
繊維・デザイン関連	染色加工等に関すること	0
	印刷技術に関すること	0
	染色堅ろう度等に関すること	21
	型紙調整等に関すること	0
	デザイン等に関すること	57
食品関連	酒類の製造に関すること	539
	穀類食品の製造に関すること	107
	調味料の製造に関すること	6
	漬物の製造に関すること	10
	その他食品の製造に関すること	34
	食品成分に関すること	41
	食品素材に関すること	45
	微生物・酵素に関すること	287
	食品分析に関すること	360
素材関連	原材料・薬剤・原料調整に関すること	1
	素材の応用技術に関すること	1
設計・生産関連	切削に関すること	5
	特殊加工(機械等)に関すること	0
	設計に関すること	6
	精密測定に関すること	188
	生産技術(機械等)に関すること	4
	材料・製品試験(機械等)に関すること	14
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	17
	腐食・防食に関すること	186
	熱処理に関すること	7
	塗装技術に関すること	10
材料試験・組織等	材料の強度等に関すること	182
	材料の物性・工業規格に関すること	8
	顕微鏡組織観察等に関すること	350
	材料のクレーム対策に関すること	17
	非破壊検査に関すること	1
環境技術関連	再資源化に関すること	0
	省エネ技術に関すること	0
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	91
	機器操作に関すること	118
	コンピュータ等に関すること	3
	講習会・研究会・鑑評会に関すること	182
	技術アドバイザー指導等に関すること	41
	異業種交流に関すること	0
	法規・規格・表示に関すること	1
	産業情報等の提供に関すること	25
	行政情報等の提供に関すること	20
その他上記以外の事項	173	
小計 (うち実地指導件数)		3,637 (603)

## ◆合計

機関名	相談件数 (うち実地指導件数)
本所	22,298 (1,993)
北部研究所	3,637 (603)
合計	25,935 (2,596)

### 2.1.2 技術アドバイザー指導事業

県内中小企業等の技術的課題を解決するため、依頼のあった企業に技術アドバイザーを派遣した。その主な実績は、次のとおりである。

#### ○ 技術アドバイザー指導件数

##### ◆本所

産業分野	企業数
プラスチック製品製造業	1
金属製品製造業	6
電子部品・デバイス・電子回路製造業	2
電気機械器具製造業	3
その他の製造業	1
技術サービス業	1
農業	1
小計	15

技術指導分野	件数
新製品・新技術の開発	7
製品・製造工程の改善	3
品質管理技術の向上	2
規格・基準適合、認証取得	3
小計	15

##### ◆北部研究所

産業分野	企業数
繊維工業	2
電気機械器具製造業	1
小計	3

技術指導分野	件数
新製品・新技術の開発	1
製造工程の改善	2
小計	3

##### ◆合計

機関名	指導企業数	指導日数
本所	15	73
北部研究所	3	16
合計	18	89



### 2.1.3 現場改善・製品化支援事業

県内中小企業等の現場改善や製品化における課題を解決するため、依頼のあった企業に専門家を派遣した。その主な実績は、次のとおりである。

#### ◆本所

産業分野	企業数
金属製品製造業	1
業務用機械器具製造業	1
その他の製造業	1
専門サービス業	2
医療業	1
小計	6

技術指導分野	件数
新製品・新技術の開発	4
製造工程の改善	1
その他	1
小計	6

#### ◆北部研究所

産業分野	企業数
社会保険・社会福祉・介護事業	1
小計	1

技術指導分野	件数
新製品・新技術の開発	1
小計	1

#### ◆合計

機関名	指導企業数	指導日数
本所	6	41
北部研究所	1	7
合計	7	48

### 2.1.4 新技術・新製品開発のためのデザイン力強化事業

県内中小企業等の新技術・新製品開発のためのデザイン力を強化するため、相談・支援体制を強化するとともに、商品企画デザイン塾等を開催した。その主な成果は、次のとおりである。

#### ○ デザイン相談

- ・ 相談件数 378 件
- ・ 相談会 県内4回開催(川口市ほか)

年月日	会場
R1.8.21	川口商工会議所
R1.9.26	産業技術総合センター
R2.1.29	さいたまスーパーアリーナ
R2.1.30	さいたまスーパーアリーナ

#### ○ 新商品開発支援 6 件

#### ○ 商品企画デザイン塾の開催 全5企画(8日間)、延べ121名受講 [詳細は 8.2 参照]

#### ○ 商品企画デザイン塾 OB 企業フォローアップの開催 全5回、延べ67名受講 [詳細は 8.2 参照]

#### ○ 特別セミナーの開催 全2回、延べ66名受講 [詳細は 8.2 参照]

### 2.1.5 次世代型ものづくり製品開発支援事業

次世代産業分野(省エネルギー・新エネルギー関連産業分野、健康・医療・福祉関連産業分野、先端ものづくり関連産業分野、新規創出関連産業分野)に進出するため先進的な取り組みを行おうとする企業等に対し、製品開発プロデューサーの一元的な管理の下で当センターのシーズと専門アドバイザーなどを活用することにより、新製品の試作開発から販路開拓までを一貫して支援した。

#### (1)支援の概要:

##### ①製品開発プロデューサーによる支援

民間企業等において新製品開発の経験や指導の経験を有する者を、製品開発プロデューサーとして各企業に配置し、試作開発から販路開拓に係る支援を実施した。

##### ②専門アドバイザーによる支援

製品開発プロデューサーの一元的な管理のもと、特に専門性が高い技術等について専門家を活用した。

##### ③試作支援

当センターの所有する設備および保有する技術などを活用し、製品開発の迅速化・高度化・高精度化を支援した。

#### (2)支援状況

支援企業数 6社

・内訳:

省エネルギー・新エネルギー関連分野	2社
健康・医療・福祉関連産業分野	1社
先端ものづくり関連産業分野	1社
新規創出関連産業分野	2社

## 2.2 依頼試験

企業からの依頼に応じて、製品や部品、材料等の試験、測定、分析などを実施した。

### 2.2.1 依頼試験

依頼試験件数の多かった項目は、本所では機器分析、強度試験及び精密測定であり、北部研究所では強度試験、機器分析及び試験片調製であった(その他の依頼試験を除く)。

#### ◆本所

種 類	件 数	金額(円)	
分析	一般分析	191	273,490
	機器分析	3,698	18,495,850
材料試験	強度試験	2,885	3,444,360
	物理試験	41	212,840
	組織試験	1,054	3,742,890
	耐候性試験	178	1,021,440
	表面処理試験	976	3,440,390
測定及び検査	精密測定	2,770	6,170,010
	EMC測定	272	2,863,560
	非破壊測定及び検査	606	7,109,190
環境試験	衝撃試験装置による試験	2	27,600
調製	試験片調製	1,245	1,007,640
立会試験		1	1,300
その他の依頼試験		5,657	26,451,650
オーダー試験		0	0
試験成績書の複本		22	5,720
小 計		19,598	74,267,930

#### ◆北部研究所

種 類	件 数	金額(円)	
分析	一般分析	209	246,020
	機器分析	1,067	3,869,960
材料試験	強度試験	2,514	1,842,830
	物理試験	64	148,160
	組織試験	502	1,621,190
	表面処理試験	312	1,968,630
測定及び検査	精密測定	331	1,017,880
官能試験	温度設定のない試験	8	2,080
調製	試験片調製	790	677,890
その他の依頼試験		1,571	6,145,270
オーダー試験		4	66,000
試験成績書の複本		1	260
小 計		7,373	17,606,170

#### ◆合計

機 関 名	件 数	金額(円)
本所	19,598	74,267,930
北部研究所	7,373	17,606,170
合 計	26,971	91,874,100

### 2.2.2 放射線測定依頼試験

平成 23 年 3 月の福島第一原子力発電所の事故発生により、放射能汚染の風評被害が工業製品にも起きた。風評被害に対応するため、平成 23 年度より工業製品の放射線測定の依頼試験を行っている。

検査対象	検査内容	検査実施場所	測定単位
1検体の一辺の大きさ 80cm 以内、重量 30kg 以内の工業製品（個体工業製品に限る）	サーベイメータによる製品表面の放射線量測定	本所	cpm
			$\mu$ Sv/h
		北部研究所	cpm
			$\mu$ Sv/h

機 関 名	件 数	検体数
本所	3	11
北部研究所	0	0
合 計	3	11

## 2.3 機器開放

企業の研究開発を支援するため、試験研究機器の開放及び操作技術の認定研修を実施した。

### 2.3.1 機器開放

企業が利用できる機器は、設計・加工機器、表面観察機器、強度試験機器、精密測定機器、測定機器、試料調整機器、電気・電子測定機器、評価試験機器、分析機器に分類されている。機器の総数は、合計 182 機器である(令和 2 年 3 月末現在)。

本所で特に利用件数の多かった機器は、シールドルーム電磁波試験測定装置、次いで電波暗室電磁波試験測定装置、電磁波障害対策室電磁波試験測定装置の順であった。利用時間として最も多かった機器は、恒温恒湿槽、次いで冷熱衝撃試験機、熱風循環式乾燥機の順であった。

北部研究所で利用件数の多かった機器は、万能材料試験機(300kN)、次いで波長分散型蛍光X線分析装置、自記分光光度計の順であった。利用時間として最も多かった機器は、恒温恒湿槽、次いで冷熱衝撃試験機、真空凍結乾燥機の順であった。

分類別の利用総額と利用件数及び利用時間は次のとおりであった。指導時間は、開放機器を使用する際の有料による指導の時間数である。

#### ◆本所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額(円)
設計・加工機器	2,781,650	355	1,590	2,259,190	211	522,460
表面観察機器	218,560	189	619	218,560	0	0
強度試験機器	1,473,480	412	1,696	745,980	293	727,500
精密測定機器	4,347,110	501	2,343	3,001,590	542	1,345,520
測定機器	2,726,350	399	1,852	2,382,330	144	344,020
試料調製機器	1,766,890	101	7,297	1,692,490	30	74,400
電気・電子測定機器	25,807,790	948	3,529	22,591,970	1,299	3,215,820
評価試験機器	26,149,080	516	32,136	25,403,260	301	745,820
分析機器	2,148,360	260	669	2,111,060	15	37,300
小計	67,419,270	3,681	51,731	60,406,430	2,835	7,012,840

#### ◆北部研究所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額(円)
設計・加工機器	58,990	54	171	56,490	1	2,500
表面観察機器	1,360	2	8	1,360	0	0
強度試験機器	469,370	200	736	407,270	25	62,100
精密測定器	510,820	61	349	414,320	39	96,500
測定機器	54,220	48	203	32,040	9	22,180
試料調製機器	497,450	28	1,391	492,530	2	4,920
評価試験機器	4,397,880	53	12,338	4,392,920	2	4,960
分析機器	979,270	156	712	929,830	20	49,440
小計	6,969,360	602	15,908	6,726,760	98	242,600

#### ◆合計

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額(円)
本所	67,419,270	3,681	51,731	60,406,430	2,835	7,012,840
北部研究所	6,969,360	602	15,908	6,726,760	98	242,600
合計	74,388,630	4,283	67,639	67,133,190	2,933	7,255,440

(利用総額:利用金額と指導金額の合計)

### 2.3.2 機器操作技術認定研修

試験研究機器を利用するに当たり、一定の操作技術が必要なものは研修を実施し、認定証を発行した。

研修日数・参加人数(本所)	154日・349人
研修日数・参加人数(北部)	42日・66人

## 2.4 AI・IoT技術支援事業

低コスト輸入製品の激増や雇用問題に直面する県内企業に対し、IoTを活用した既存生産設備の改良による先進生産システムやスマート工場化に対応したものづくり基盤の構築を支援する。

### 2.4.1 スマートものづくり支援事業

技術職員が企業を訪問して、既存生産設備に対するセンサー・制御網の配備、情報通信網による接続、生産管理システムの導入など、改造、増設を含めた設備改造の提案、助言を行う他、SAITEC に整備した実証環境(SAITEC検証ラボ)による検証試験、物流管理システムによる検証試験等により、県内中小企業のスマートものづくり基盤構築を支援した。

・支援企業:17社(18件)

### 2.4.2 AI活用支援

AIを使った画像診断ソフトを複数導入し、良品・不良品判定への活用可能性を検証した。支援を希望する企業から、実際の良品・不良品を預かって、検証を行い、検証結果の提示等を行った。また、AIを活用した故障診断システムを開発し、設備のデータ取得等支援を行った。

・支援企業:6社(7件)

### 2.4.3 IoT利用技術研究会

IoTの導入・推進を図る企業とIoT化技術を有する企業、IoT関連機器製造企業が情報交換を行い、IoT化を効率的、効果的に進める環境を設けるために「埼玉県IoT利用技術研究会」を開催した。

・会員 115社

・第1回研究会 令和元年10月18日 参加者69名

・第2回研究会 令和2年1月24日 参加者13名

### 2.4.4 地方版IoT推進ラボ

平成28年度に経済産業省とIoT推進ラボが実施している地方版IoT推進ラボに、埼玉県IoT推進ラボとして選定され、令和元年度も継続して活動した。

・構成:埼玉県産業技術総合センター、(公財)埼玉県産業振興公社、(公財)さいたま市産業創造財団

・「中小企業向けIoT・AIツール展示会」令和元年10月15日 新都心ビジネス交流プラザ

## 2.5 ナノカーボンプロジェクト推進事業

先端産業創造プロジェクトの一環として、企業が開発したナノカーボン等を活用した新素材や新製品の評価解析技術の共同開発を行った。

・共同開発件数:2件

## 2.6 新エネルギープロジェクト推進事業

先端産業創造プロジェクトの一環として、次世代蓄電池(マグネシウム蓄電池)の実用化を進めている。令和元年度は、高出力化、高容量化を目的として、出力電流3倍アップ(昨年度比)の出力重視型と容量1.5倍アップ(昨年度比)の容量重視型の2種類の電池の開発を行い、試験用蓄電池セルで目標を達成した。

また、マグネシウム蓄電池の用途開発に向けて、活用製品研究会(目的:マグネシウム蓄電池を使用する製品の開発 会員数:16社)会員企業等6社と情報交換を行い、2件の試作電池貸出を行った。

## 2.7 ロボットプロジェクト推進事業

先端産業創造プロジェクトの一環として、「カット野菜ライン用異物検出システム」について、企業と共同開発を行った。

- ・共同開発件数: 1 件

## 2.8 技術支援等による実用化・商品化

技術支援及び研究開発等によって、企業が技術を実用化し、または開発したものを商品化した案件は33件である。代表的な例を挙げると、

- (1)100%米粉パンの開発、商品化支援
- (2)粉末状の醤油の開発、商品化支援
- (3)金型加工から製品製造までの一貫製造の強みを生かした新たな製品開発を支援
- (4)アスリート向けパンの開発、商品化支援
- (5)電子タバコケースのデザイン開発を支援

## 2.9 培養酵母の頒布

種 別	本 数	金 額(円)
酒類用酵母等	1,127 本	563,500
味噌用酵母	7 本	10,500
合計	1,134 本	574,000

### 3 研究開発

埼玉県産業技術総合センターでは、県内産業の技術力強化を図るため、社会的ニーズや新技術・新製品の開発や生産システム等の課題に対応した研究開発や企業からの依頼による受託研究等を実施し、研究成果の発表や技術相談・指導等を通じて研究成果の技術移転を行った。

また、研究の計画及び終了段階における外部評価委員による研究評価、外部専門家の客員研究員による研究指導等、研究の効果的・効率的推進に努めた。

#### 3.1 研究開発

##### 3.1.1 政策的研究課題

###### (1) 政策的研究開発事業(産業支援研究)

###### ◆本所

- 炭素繊維強化樹脂(CFRP/CFRTP)へのめっき技術の開発
- 表面改質による FRP の高機能化
- 車椅子バスケットボールの競技成績向上に資する車椅子の開発
- アニオン交換固体高分子形燃料電池の開発
- 電池評価セルの開発

###### ◆北部研究所

- 麺製品の高付加価値化に向けた味・香り向上技術の開発

###### (2) 新技術開発推進事業(独創的技術形成研究、技術支援高度化研究)

###### ◆本所

- 積層造形物の樹脂特性情報の整備
- 溶剤含浸法による連続炭素繊維強化ポリカーボネートの高強度化

###### ◆北部研究所

- 埼玉酵母を用いたビールの醸造
- 酒造原料米の溶解性予測システムの確立に関する研究
- 接着材用水分拡散係数評価セルの開発

###### (3) 競争的資金による研究開発等

[平成 31 年度戦略的基盤技術高度化支援事業 関東経済産業局]

- ドライ・ウェット複合めっきプロセスによる IoT 制御用小型 RFID タグの開発
- 差圧を用いた無電源で吊るさず携帯性・操作性に優れ移動制限のないポータブル補液ポンプの開発

[2018 年度学術研究助成 (公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団]

- 麺の風味形成における抗酸化物質の影響および ESR によるその迅速評価

[農業機械技術クラスター事業 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構農業技術革新工学研究センター]

- 越冬ハクサイ頭部結束機の開発



### 3.1.2 受託研究等

#### (1) 企業からの受託研究

	件数	金額 (円)
本所	11	1,527,500
北部研究所	10	1,425,400
計	21	2,952,900

#### (2) 外部競争的資金による受託研究

	件数	金額 (円)
本所	0	0
北部研究所	1	223,270
計	1	223,270

#### (3) 外部競争的資金による研究開発(補助金、助成金)

	件数	金額 (円)
本所	2	1,279,899
北部研究所	1	1,400,000
計	3	2,679,899

※科研費を除く

### 3.1.3 科学研究費助成事業(科研費)

平成 26 年 10 月 15 日付で科学研究費補助金取扱規程に規定する研究機関に指定された。機関番号は 82410 である。

#### (1) 応募

応募時期	研究種目	応募数	
		研究代表者	研究分担者
令和元年 11 月	基盤研究(C)	1	1
令和元年 11 月	若手研究	2	-

#### (2) 採択

研究区分	テーマ	所	研究者区分	研究期間	交付予定額(全年)	
					直接経費(千円)	間接経費(千円)
基盤研究(C)	メタゲノム解析による食品衛生指標菌の選抜と汚染源推定技術への応用	北部	研究代表者	R1~R4	3,400	1,020

#### (3) 実施

研究区分	テーマ	所	研究者区分	交付額	
				直接経費(千円)	間接経費(千円)
基盤研究(C)	座位姿勢が、除圧動作に与える影響の解明	本所	研究代表者	※ 0	※ 0
基盤研究(C)	メタゲノム解析による食品衛生指標菌の選抜と汚染源推定技術への応用	北部	研究代表者	1,300	390
若手研究(B)	麺の加工工程における風味形成メカニズムの解明	北部	研究代表者	700	210
基盤研究(C)	円背高齢者の摂食時の誤嚥リスクを低減させる姿勢およびテーブル調整の支援指針の作成	本所	研究分担者	100	30

※1年間延長したため、資金交付はない。

### 3.2 客員研究員

外部の専門家・有識者を当所の客員研究員として依頼し、当所が進める各分野の研究に対して助言指導を受けた。

客員研究員	指導分野	指導日数
首都大学東京 信太 奈美 氏	ヘルスケア	4
埼玉大学 坂井 建宣 氏	先端ものづくり	4
東京電機大学 椎葉 究 氏	農林・食品	2
帝京平成大学 前田 竜郎 氏	農林・食品	2
東京大学 石井 正治 氏	バイオテクノロジー	3
5 名	4 分野	15

### 3.3 研究成果の公表

#### 3.3.1 センター主催の発表

##### ◆本所

SAITEC オープンラボ（掲載論文『埼玉県産業技術総合センター研究報告第 17 巻』）

年月日	発表題目	発表者名
R1.9.26	溶剤による炭素繊維強化ナイロン複合材料のリサイクル	化学技術担当 坂本 大輔
	炭素繊維強化樹脂(CFRP/CFRTP)へのめっき技術の開発	化学技術担当 熊谷 知哉
	普及型水蒸気透過度測定装置の開発	食品・バイオ技術担当 飯塚 真也
	医療福祉機器に関する研究開発および規格開発	戦略プロジェクト 推進担当 半田 隆志
	新規アルカリ燃料電池の開発	戦略プロジェクト 推進担当 稲本 将史
	次世代蓄電池技術研究開発	戦略プロジェクト 推進担当 栗原 英紀
	排煙管内清掃ロボットの開発	製品開発支援担当 山崎 彰太

##### ◆北部研究所

SAITEC 北部研究所研究成果発表会

年月日	発表題目	発表者名
R1.10.18	水蒸気透過度測定装置の開発	食品・バイオ技術担当 飯塚 真也
	酒米の迅速評価法の活用	食品・バイオ技術担当 齋藤 健太
	麺製品の高付加価値化に向けた味・香り向上技術の開発	食品プロジェクト担当 仲島 日出男

3.3.2 学会等への発表(国際会議含む)

◆本所

年月日	発表題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
R1.5.30	「シーティングに関するISO会議」参加報告	半田 隆志		日本車椅子シーティング財団 財団通信
R1.5.30	埼玉県産業技術総合センターにおけるAI導入支援の取組みについて	白石 知久	第24回計算工学会 第7回シンポジウム	
R1.7.4	リバブレーションチャンバーの自動車分野への適用	能戸 崇行	TKFオープンフォーラム	
R1.7.4	アニオン交換膜形燃料電池に関する研究	稲本 将史	TKFオープンフォーラム	
R1.7.31	溶剤を用いた熱可塑性CFRPのリサイクル	坂本 大輔	富山県産業技術研究開発センター テクノシンポジウム2019	
R1.8.10	人工膝関節置換術支援システムの開発 -3軸慣性センサを用いた機能軸推定システムの開発-	半田 隆志 他3名	電子情報通信学会福祉情報工学研究会	
R1.9.13	人工膝関節置換術支援システムの開発 -3軸慣性センサを用いた機能軸推定システムの開発および妥当性評価-	半田 隆志 他3名	LIFE2019	
R1.10.24	溶液含浸法による炭素繊維強化ポリカーボネートの成形および分離・回収方法の検討	小熊 広之	第64回 FRP CON-EX 2019	
R1.10.30	埼玉県内中小企業の工場スマート化支援の取り組み	本多 春樹	KISTEC Innovation Hub 2019 in Ebina 《神奈川県ものづくり技術交流会》	
R1.11.1	姿勢計測の基礎と最新動向	半田 隆志		車椅子シーティング研究
R1.12.4	車椅子試験用ダミーの変更が車椅子走行耐久性試験に与える影響	香西 良彦 半田 隆志 他2名	電子情報通信学会福祉情報工学研究会	
R2.2.12	固体高分子形燃料電池の現状と新規材料の開発状況	稲本 将史	第4回モータ・パワーエレ・水素エネルギー研究会	
R2.3.13	座位姿勢が除圧動作の効果に与える影響	半田 隆志 香西 良彦 他2名	電子情報通信学会福祉情報工学研究会	
R2.3.20	車椅子バスケットボールにおける漕ぎ出し動作の画像解析	半田 隆志 他7名	電子情報通信学会 2020総合大会	

◆北部研究所

年月日	発表題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
R1.7.26	大豆粉懸濁液を使用した新規ヨーグルト様食品の開発	仲島 日出男	千葉県産業支援技術研究所「オープンラボ2019」	
R1.8.30	埼玉県産小麦を使用した麺の風味形成要因の解明による高付加価値化	成澤 朋之	公益社団法人日本食品科学工学会第66回年次大会シンポジウムB5「地域食品研究のエクセレンス」	
R2.2.10	埼玉県産小麦を利用した麺の風味形成要因の解明による高付加価値化	成澤 朋之		「食品の試験と研究」第54号「平成30年度優良研究・指導業績」
R2.3	Detection of microorganisms with lateral flow test strips	富永 達矢 他1名		Methods in Microbiology 47 巻 .351-394

### 3.4 研究課題の評価

#### 3.4.1 研究評価委員会

令和元年度の研究結果について、成果普及の方向性や今後の展開について検討するため、外部専門家を含めた研究評価委員会を開催し、事後評価を行った。併せて、令和2年度に実施予定の研究課題について、課題選定や研究計画の洗練を図るための事前評価を行った。

#### ○研究評価委員会

##### 外部委員

〈令和2年2月25日開催〉

(地独)東京都立産業技術研究センター	特任技術アドバイザー	山中 忠衛 氏
(一社)埼玉県中小企業診断協会	副会長	庄 司 憲 生 氏
川口商工会議所	企業支援コーディネーター	野 口 満 氏
埼玉大学 オープンイノベーションセンター	センター長	松 岡 浩 司 氏
(国研)産業技術総合研究所	総括主幹	小 川 博 文 氏

#### 3.4.2 中間評価

研究の進捗状況を把握し、その進行を適切に管理するために中間ヒヤリングを以下のとおり実施した。

産業支援研究

令和元年11月18日

## 4 研究開発支援

中小企業の研究開発支援及び産学官連携を推進するため、技術相談や共同研究による企業の支援を行った。また、研究発表会等を開催し、SAITEC の研究成果を紹介した。さらに、特許の取得推進とその利用に努めた。

### 4.1 産学官連携の推進

#### 4.1.1 産学官連携推進について

SAITEC における研究開発について、県内企業等と共同研究を行うなどして連携の推進を図った。外部競争的資金については、産学官連携により継続 2 件、新規 1 件の採択を得た。

また、SAITEC 研究発表会の開催や、産業交流展など他機関主催の展示会へも積極的に参加し研究等の説明を行った。

さらに、産学連携支援センター埼玉が主催する産学連携ネットワーク会議に参加し、県内工科系大学及び県内金融機関等と産学官連携の情報交換、連携推進を行った。

#### 4.1.2 産学官連携関連展示会(主催事業)

##### (1) SAITEC オープンラボ

SAITEC の研究・事業成果の展示・発表及び、埼玉県先端産業創造プロジェクトの成果に関する情報提供などを県内企業等に向けて行った。

開催日：令和元年 9 月 26 日(木)

会場：埼玉県産業技術総合センター

来場者：84 名

内容：SAITEC 及び他県公設試験研究機関、先端産業創造プロジェクトの成果発表、ポスター展示、講演、施設見学会、デザイン相談会

##### ①研究成果発表

SAITEC 職員による発表 7 テーマ [内容は 3.3.1 項を参照]

他県公設試からの発表 4 テーマ (東京都、神奈川県、千葉県、富山県)

SAITEC 職員によるスマートものづくり支援取組み紹介 1 テーマ

##### ②講演

テーマ 「～正しい“思考プロセス”が、企業の未来を創る～

「観察」による潜在的ニーズ・課題の抽出・分析と、ビジネスへの活用」

(同)リアル・アイズ 代表社員 越野 孝史 氏

テーマ 「デジタル技術で変わるものづくり」

(株)デジネル 代表取締役 原 雄司 氏

##### ③施設見学会

##### ④成果展示会 (SAITEC、先端産業創造プロジェクト、埼玉大学、TKF 支援事例、等)

##### (2) SAITEC 北部研究所研究成果発表会

当研究所の研究成果・開発事例を発表し、これからの食品開発の方向性の講演及び、新規導入機器の紹介を行った。

開催日：令和元年 10 月 18 日(金)

会場：埼玉県産業技術総合センター北部研究所

来場者：69 名

内容：SAITEC の研究成果の発表、IoT 利用技術研究会、講演及び新規導入機器の紹介

##### ①研究成果発表 3 テーマ[内容は 3.3.1 項を参照]

##### ②IoT 技術を活用した高付加価値食品開発事例紹介

##### ③講演

テーマ「新たな冷凍技術や食感評価を活かした新商品開発」

講師 岐阜大学 応用生物科学部 教授 西津 貴久 氏

##### ④新規導入機器の紹介「クリーブ試験装置」

##### (3) 第 16 回埼玉北部地域技術交流会

企業、大学、金融機関、支援機関等計 29 機関が出席し、事業の PR 展示とシンポジウム及び情報交換会を開催し、参加者との交流を図った。

開催日：令和 2 年 2 月 13 日(木)

会場：早稲田リサーチパークコミュニケーションセンター

出展：29 企業、大学、金融機関、支援機関等

参加者：105 名

内 容:

①シンポジウム

○基調講演

・テーマ:「中小企業のイノベーションとは」

・講師:埼玉県産業振興公社 企業間連携支援コーディネーター 野口 満 氏

○「ビッグデータ」と「外国人財」の活用

・市場情報ナビ(MieNa)の活用術 講師:松下 かおる 氏(埼玉県立熊谷図書館)

・外国人財の定着に向けて 講師:木村 光雄 氏(東亜工業(株) 総務部アドバイザー)

②情報交換会

・(株)名取製作所と(株)秩父ファーマーズファクトリーの連携報告

・協力先や連携先等を発掘するためのプレゼンテーション

#### 4.1.3 産学官連携に関連する展示会

令和元年度は、主催の展示会のみならず、外部機関からの出展依頼のあったものについても積極的に出展した。令和元年度の出展実績は以下のとおりである。

年 月 日	展示会の名称	開催場所	参加人数
R1.8.2	テクノブリッジフェア in さいたま	ラフレさいたま	未集計
R1.10.15	中小企業向け AI・IoT ツール展示会	新都心ビジネス交流プラザ	117
R1.10.31～11.2	富山ものづくり総合見本市(T-Messe2019)	富山産業展示館(テクノホール)	156
R1.11.13～14	BIZ SAITAMA2019 さいたま市産業交流展	大宮ソニックシティ	62
R1.11.13～15	産業交流展 2019	東京ビッグサイト	93
R2.1.29～30	彩の国ビジネスアリーナ 2020	さいたまスーパーアリーナ	1,124
R2.1.29～30	産学連携フェア(彩の国ビジネスアリーナ 2020 同時開催)	さいたまスーパーアリーナ	130
R2.2.5	2020 埼玉県農商工連携フェア	さいたまスーパーアリーナ	185

## 4.2 助成制度への取り組み

埼玉県産業技術総合センターでは、県内中小企業の技術的支援機関として、国等の助成制度(補助金、委託事業等)を積極的に活用するための取り組みを行っている。

### 4.2.1 研究開発型企业支援事業

県内中小企業に対し、国等が実施する助成制度への応募に向けて、大学、(国研)産業技術総合研究所などの国立研究開発法人等との連携の基に支援を行った。

結果、外部競争的資金では、継続2テーマ及び新規1テーマを実施した。

平成30年度補正「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」については、平成30年度から令和元年度にかけて1次公募が行われ、応募への相談支援を10社に対して行い、4社が採択された。令和元年度の2次公募では、応募への相談支援はなかった。

令和元年度補正「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」については、令和元年度に1次締切があり、応募への相談支援を3社に対して行い、1社が採択された。

#### 4.2.2 埼玉県産業技術総合センターが参加する産学官共同研究実施実績

施策名(実施機関)	プロジェクト名	共同研究体制
平成 31 年度戦略的基盤技術高度化支援事業 (関東経済産業局)	ドライ・ウエット複合めっきプロセスによる IoT 制御用小型 RFID タグの開発	吉野電化工業(株) (研究代表者) 豊橋鍍金工業(株) メルテックス(株) 早稲田大学 (国研)産業技術総合研究所
平成 31 年度戦略的基盤技術高度化支援事業 (関東経済産業局)	差圧を用いた無電源で吊るさず携帯性・操作性に優れ移動制限のないポータブル補液ポンプの開発	入江工研(株) (研究代表者) (国研)産業技術総合研究所 (地独)東京都立産業技術研究センター
農業機械技術クラスター事業 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構農業技術革新工学研究センター)	越冬ハクサイ頭部結束機の開発	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構農業技術革新工学研究センター (研究代表者) 東洋精機(株)

### 4.3 特許の取得推進とその活用

#### 4.3.1 産業財産権の一覧

令和元年度は、新たに2件の特許出願があった。

(1)特許権(センターが所有する特許全42件(未公開4件含む)のうち、登録又は出願公開されたもの)

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
1	発酵風味菓子の製造方法	H15.6.6 特願 2003-162045	H16.12.24 特開 2004-357631	H20.9.19 4188146	井上 和春	みたけ食品工業(株)、(株)愛工舎製作所 共同
2	粘弾性測定装置および粘弾性測定方法	H15.10.31 特願 2003-372299	H17.5.26 特開 2005-134295	H21.4.24 4299100	關根 正裕 荻野 重人	(有)サンズコーポレーション 共同
3	漬床及びこれを用いた漬物の製造方法	H16.3.30 特願 2004-098398	H17.10.13 特開 2005-278531	H20.10.24 4205006	井上 和春 大澤 千恵子	みたけ食品工業(株)、(株)愛工舎製作所、東洋大学 共同
4	大腸菌群の汚染源特定方法及びその検出に使用する大腸菌群検出用培地セット	H17.8.8 特願 2005-229680	H19.2.22 特開 2007-43921	H23.7.29 4789540	富永 達矢 關根 正裕	
5	センサー機能付アクチュエータ装置および粘弾性測定装置	H18.7.20 特願 2006-198697	H20.2.7 特開 2008-29111	H25.2.8 5190606	關根 正裕	(有)サンズコーポレーション、(有)カトランスフォーマ、共同
6	身体傾斜角計測器および身体ねじれ角計測器	H19.5.29 特願 2007-141889	H20.12.11 特開 2008-295527	H23.12.16 4885795	半田 隆志	他2名共同
7	樹脂構造物の製造方法	H19.3.23 特願 2007-76552	H20.10.2 特開 2008-231355	H25.3.1 5205636	山田 岳大	
8	動的粘弾性測定装置	H21.6.1 特願 2009-131935	H22.2.4 特開 2010-25923	H25.8.2 5327532	山田 岳大 關根 正裕	
9	加熱調理装置	H21.6.8 特願 2010-516841	H21.12.17 PCT/JP2009/60429	H24.11.9 5130363	關根 正裕 樋口 誠一 高橋 学 常見 崇史	(株)T.M.L、学校法人早稲田大学 共同
10	振動生成装置、動的粘弾性測定装置、および、動的粘弾性測定方法	H20.8.22 特願 2008-214580	H22.3.4 特開 2010-48722	H25.4.5 5233044	關根 正裕	(株)GMタイセー 共同
11	変位拡大装置	H20.9.8 特願 2008-229737	H22.3.25 特開 2010-68549	H25.5.2 5256414	荻野 重人	
12	品質評価装置	H20.10.27 特願 2008-275700	H22.5.6 特開 2010-101839	H25.6.7 5282231	關根 正裕 栗原 英紀 富永 達矢	(株)真韻 共同
13	ドレッシング及びその製造方法	H20.12.26 特願 2008-331697	H22.7.8 特開 2010-148468	H25.11.15 5407035	井上 和春	みたけ食品工業(株)、東洋大学、(株)愛工舎製作所 共同
14	射出成型装置	H21.4.28 特願 2009-110173	H22.11.18 特開 2010-260175	H22.11.19 4628476	山田 岳大	PLAMO(株) 共同
15	正極活物質、マグネシウム二次電池および正極活物質の製造方法	H21.11.17 特願 2009-261903	H23.6.2 特開 2011-108478	H26.3.20 5499281	栗原 英紀 斉田 吉裕 稲本 将史	
16	加熱調理装置、および、加熱調理方法	H22.3.12 特願 2012-504256	H23.9.15 WO/2011/111231	H25.10.18 5386701	關根 正裕	(株)T.M.L、(株)新井機械製作所 共同
17	バーチャルウエスタンプロティングシステム	H22.4.28 特願 2012-512589	H23.11.3 WO/2011/135692	H27.1.30 5685777	關根 正裕	(株)エヌイー健康研究所 共同



番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
18	切削加工装置、振動条件提示装置及びその方法	H23.3.9 特願 2011-52238	H24.10.4 特開 2012-187656	H27.3.27 5716955	南部 洋平 落合 一裕	
19	米飯製造方法及び米飯製造装置	H24.1.29 特願 2012-009321	H25.8.1 特開 2013-146224	H28.5.27 5938588	關根 正裕	(株)T.M.L、早稲田 大学 共同
20	樹脂接合方法	H24.2.17 特願 2012-032540	H25.8.29 特開 2013-166904	H29.4.14 6123047	關根 正裕 小熊 広之 佐野 勝	
21	ガイド器具設置誤差検出装置	H24.8.10 特願 2012-178914	H26.2.27 特開 2014-36700	H29.4.14 6123061	半田 隆志	アルスロデザイン (株)、埼玉医科大学 共同
22	接着剤及び樹脂接合方法	H24.8.17 特願 2012-180727	H26.2.27 特開 2014-37489	H29.3.3 6097914	關根 正裕 小熊 広之 佐野 勝	
23	固体樹脂の接合方法	H24.11.22 特願 2012-256570	H26.6.9 特開 2014-105215	H29.6.9 6152528	山田 岳大	前澤化成工業 (株) 共同
24	角度計測システム及びプログラム	H24.12.6 特願 2012-267211	H26.6.26 特開 2014-113197	H30.3.30 6311096	半田 隆志	アルスロデザイン (株)、(株)レキシー 共同
25	吸熱マット、保護カバー	H24.12.11 特願 2012-270444	H26.6.26 特開 2014-115885	H29.9.15 6205548	關根 正裕	市原清二 共 同
26	燃料用電池用触媒及びカソード	H25.2.28 特願 2013-39566	H26.9.11 特開 2014-167876	H29.3.3 6098871	栗原 英紀 稲本 将史	
27	アクチュエータ	H25.3.27 特願 2013-66299	H26.10.6 特開 2014-193015	H29.5.26 6145674	荻野 重人	
28	位置決め機構	H26.1.31 特願 2014-17257	H27.8.6 特開 2015-143783	H30.7.20 6369741	荻野 重人	
29	試料の水蒸気透過度測定装置 及び水蒸気透過度測定方法	H27.3.5 特願 2015-043135	H28.9.5 特開 2016-161527	H30.12.14 6446683	飯塚 真也	
30	電解液及びマグネシウム二次電池	H27.7.13 特願 2015-139770	H29.1.26 特開 2017-22024	R1.7.19 6554645	栗原 英紀 稲本 将史	本田技研工業 (株) 共同
31	酸素還元触媒、その製造方法 および燃料電池	H28.8.18 特願 2016-160323	H30.2.22 特開 2018-29011		栗原 英紀 稲本 将史	
32	圧子押し込み装置	H28.9.26 特願 2016-186939	H30.4.5 特開 2018-054318		荻野 重人	
33	濾過シート材のひだ折り装置、 そのシステム及び方法	H29.1.26 特願 2017-012360	H30.8.2 特開 2018-118218		奥野 慎	東洋精機(株) 共同
34	正極活物質、正極活物質の製 造方法、正極および二次電池	H29.9.15 特願 2017-177820	H31.4.4 特開 2019-053910		栗原 英紀 稲本 将史	三桜工業(株)、 (株)田中化学研 究所 共同
35	水蒸気透過度及び質量変化測 定装置並びにその測定方法	H29.10.17 特願 2017-200956	R1.5.16 特開 2019-074418		飯塚 真也	
36	移動式ダクト清掃装置	H29.12.6 特願 2017-234478	R1.6.24 特開 2019-098287		荻野 重人 山崎 彰太	
37	繊維強化樹脂複合材のリサイク ル方法及びそのシステム	H29.12.14 特願 2017-239250	R1.6.27 特開 2019-104861		坂本 大輔	
38	食品検査システムおよびプログ ラム	H30.6.1 特願 2018-106268	R1.12.12 特開 2019-211288		白石 知久	三州製菓(株) 共同

(R2.3.31 現在)

(2) 実用新案登録

番号	名 称	出願年月日 出願番号	登録年月日 登録番号	考案者	備考
1	ひだ折り濾紙用広角漏斗	H29.12.18 実願 2017-5693	H30.2.7 3215155	奥野 慎	東洋精機(株) 共同

4.3.2 実施許諾

令和元年度は計6件の実施許諾契約を締結し、実施許諾先企業数は合計19社(使用特許等数は29件)となった。

## 5 交流

県内中小企業の技術交流を支援するとともに、他の鉱工業公設試験研究機関との交流に努めた。また、講演会、審査会、各種会議等に職員を派遣した。

### 5.1 異業種交流支援事業

#### 5.1.1 産学官交流プラザ

埼玉県技術交流プラザ終了企業を中心として発足し、技術及び経営等に関する情報交換、大学・企業等との交流、研修会及び講演会等の産学官交流を行った。総会・例会・研修会・役員会の開催は合計8回であった。主な活動実績は次のとおりである。

会 長：岩崎 一隆((株)岩崎食品工業 会長)

会員数：24社

年月日	開催場所	内 容
H31.4.25	埼玉県産業技術総合センター	第1回役員会 年度計画の打合せ
R1.5.30	埼玉県産業技術総合センター	第2回役員会及び総会 県内企業視察先検討、総会打合せ、総会開催
R1.7.16	(株)田島軽金属 本社 池上金型工業(株)大利根事業所	第1回例会 県内企業視察
R1.10.3	埼玉県産業技術総合センター	第3回役員会 県外企業視察先、講演会検討
R1.12.13	大利根カントリークラブ	第2回例会
R2.2.21	大宮ソニックシティ	第4回役員会及び第3回例会 総会日程、次回役員会日程、講演会打合せ 講演会 小惑星探査機「はやぶさ」「はやぶさ2」に見る最先端 技術とプロジェクトマネジメント
R2.3.19	埼玉県産業技術総合センター	第5回役員会 次年度計画検討

### 5.1.2 さきたま利根テクノプラザ(STTEP)

本会は、平成6年に埼玉県繊維工業試験場(当時)主催の異業種交流会(埼玉県利根エリアテクノプラザ)として発足し、会員相互における技術開発及び経営課題に関する情報交流を重ねて信頼関係を築き上げてきた。

平成9年にグループ名を現在の名称に改め、基本理念を「生涯の友人づくりの為に」と位置付け、経営者の資質と文化意識の向上を図るため、経営・技術情報等の交換や文化的な活動を行っている。

また、中小企業の発展及び産業支援機関等との人的ネットワークの拡大を目指した活動も継続している。

代 表: 小菅 一憲(東洋パーツ(株) 会長)

参加企業: 11 企業

年月日	開催場所	内 容
H31.4.18	長瀬「げんきプラザ」	①規約改定及び新規役員案等の承認 ②会員企業の現況報告・情報交換 ・外国人労働者の確保及び受け入れ態勢 ・取引先大手企業の M&A による受発注ルートの混乱 ③写仏教習 指導:STTEP 代表 小菅一憲
R1.5.14	今泉工業(株) (熊谷市)	①会員企業の事業紹介 今泉工業(株) 代表取締役会長 今泉英夫 ②工場見学
R1.6.27	熊谷市農業活性化センター 「アグリメイト」	①農産物加工体験研修 「手打ち鴨汁うどんの食文化を紐解く」 ②意見交換
R1.7.19	埼玉勤労者いこいの村 「ヘリテージ美の山」	①写仏教習 指導:STTEP 代表 小菅一憲 ②意見交換
R1.12.6	枕流荘「京亭」	①自社の現況について ②来期に向けた展望
R2.2.5	長瀬「長生館」	①自社の現況について ②来期に向けた展望
R2.3.17	SAITEC 北部研究所	①今後に向けた運営の方向性について ②来期の例会開催計画案について ③その他意見・情報交換

## 5.2 新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)

各種研究会、交流会を支援するため、各会事務局を担当した。

### 5.2.1 鋳物技術委員会

本県鋳物工業の生産技術の向上を目的として当センターの業務に有効・適切な助言と指導を受けるため、委員会を開催した。主な検討事項は鋳造技術コンクールに関する助言、鋳造技術に関する講演会・講習会の内容の検討等である。なお、委員会は、県依頼の委員 3 名、業界依頼の委員 5 名及び川口市職員 1 名、県職員 2 名の 11 名の委員にオブザーバー 1 名の合計 12 名で構成する。

令和元年度は 2 回開催され、出席者は延べ 29 名であった。

(役員) 委員長 ものづくり大学 名誉教授 鈴木 克美 氏

(事務局) 埼玉県産業技術総合センター 材料技術担当

川口鋳物工業協同組合 総務課

### 5.2.2 埼玉県ものづくり研究会

本研究会は、ものづくりのコア技術並びに関連技術の普及、向上に寄与することを目的に、平成 19 年 7 月に埼玉県 NC 工作機械研究会と埼玉県金型研究会を発展的に統合し設立され、講演会、講習会の開催、加工・組み立て技術に関する研究開発、技術者の養成等を主な事業としている。令和元年度は、講演会 2 回、工場見学会 1 回、研修会 3 回を開催し、参加者は、延べ 110 名であった。

(会員数) 38 社(正会員 34、賛助会員 4)

(役員) 会 長 (株)ユニテックギア 斉藤 正洋 氏

副会長 (株)田口型範 田口 順 氏

(事務局) 埼玉県産業技術総合センター 機械技術担当

### 5.2.3 埼玉県熱処理技術研究会

本会は、熱処理関連企業の熱処理技術の向上を目的として昭和44年6月に設立され、講演会の開催、工場見学、会報の発行を主な事業としている。

令和元年度は講演会を1回、講習会を2回、見学会を1回開催し、参加者は延べ74名であった。

(会員数) 54社

(役員) 会長 山方技術士事務所 山方 三郎 氏  
副会長 (有)中村熱処理工業所 中村 賢一 氏  
〃 (株)伸和熱処理 時枝 宏幸 氏  
〃 日新化熱工業(株) 横山 聡洋 氏  
(事務局) 埼玉県産業技術総合センター材料技術担当

### 5.2.4 清酒製造技術研究会

県産清酒の品質向上、清酒の多様化に対応する品質設計、清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために研究会を開催した。

(会員数) 34社

(事務局) 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 食品・バイオ技術担当

#### (1) 新酒研究会

全国新酒鑑評会出品酒或いは同等の清酒を、出品酒と同様の条件で保管した後に官能評価する。保管による酒質変化を検討し、今後の出品管理の一助にする。併せて、きき酒能力の向上を図る。

実施日:令和元年5月10日

出品点数:9点(8場)

参加者:8名(製造担当者)

#### (2) 市販清酒研究会

流通過程における品質について外装審査、官能評価及び成分分析の試験調査を行って把握し、新製品開発の一助にする。今回は主にきき酒能力の向上を図る。

実施日:令和元年7月3日

実施内容:官能評価実習

参加者:37名(埼玉県吟友会会員、製造担当者、彩の国酒造り学校生徒、他)

#### (3) 清酒研究会

清酒の多様化に対応する品質並びに清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために、出品酒の官能評価を行い、製造管理及び貯蔵・出荷管理について検討する。また、吟醸酒のきき酒を行い、酒質判定能力の向上を図る。

実施日:令和元年9月10日

出品点数:吟醸酒の部 43点(13場)

純米吟醸酒の部 26点(13場)

純米酒の部 8点(6場)

参加者:24名(杜氏、酒造担当者)

#### (4) 吟醸酒研究会

平成30酒造年度全国新酒鑑評会金賞受賞杜氏をパネラーとし、パネルディスカッション等を通じて吟醸酒造りの技術水準向上を図る。

実施日:令和元年9月27日

参加者:17名(杜氏、酒造担当者)

パネルディスカッション:「吟醸酒づくりの要点」

パネリスト 北西酒造(株) 村上 杜氏

小江戸鏡山酒造(株) 柿沼 杜氏

五十嵐酒造(株) 小林 杜氏

松岡醸造(株) 松岡 杜氏

(株)釜屋 松沼 杜氏

講話:「製麹の理論と応用」

講師:関東信越国税局 主任鑑定官 辻井将之 氏

#### (5) 杜氏酒造研究会

清酒製造について本酒造年度における問題点を提起し、今後の酒造管理に反映させる。また、吟醸酒のきき酒を行い、酒質の判定能力の向上を図る。

実施日:令和2年3月19日

参加者:14名(杜氏、酒造担当者)

きき酒研究会

個別指導

話題提供:「吟醸酒の管理と出品について」 北部研究所 担当部長 横堀 正敏  
「オゾン水」 トヨタ車体グループ、(株)DOT&LINE

#### 5.2.5 高付加価値食品研究会

県内食品企業が行う付加価値の高い食品製品開発を支援するため、研究会やテーマ検討会を開催するほか、商品試作支援を実施した。令和元年度は研究会を2回、テーマ検討会を5回開催し、参加者はのべ92名であった。また、セミナーを3回開催した。さらに、会員企業のうち9社に対して、製品開発支援を実施した。

(会員数) 25社

(事務局) 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 事業化・製品開発支援担当

### 5.3 首都圏連合推進事業(公設試版)【研究発表：他県を含む】

首都圏の工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することにより首都圏産業の活性化を図った。

#### 5.3.1 首都圏公設試連携推進会議の開催 2回(第58回～第59回)

(1)令和元年10月10日(木) 東葛テクノプラザ

(2)令和2年3月 書面会議

#### 5.3.2 首都圏公設試連携推進会議(TKFオープンフォーラム)の開催(第13回)

令和元年7月4日(木) (地独)東京都立産業技術研究センター

((地独)東京都立産業技術研究センター TIRI クロスミーティング2019と同時開催)

#### 5.3.3 研究発表者相互派遣事業

##### (1) 発表者派遣

##### ① TKF オープンフォーラムへの参加

令和元年7月4日(木)

- ・技術支援室 電気・電子技術担当 主任研究員 能戸 崇行  
「リバブレーションチャンバーの自動車分野への適用」
- ・技術支援室 戦略プロジェクト推進担当 主任 稲本 将史  
「アニオン交換膜形燃料電池に関する研究」

##### ② 千葉県産業支援技術研究所オープンラボ2019への参加

令和元年7月26日(金)

- ・北部研究所 食品プロジェクト担当 担当部長 仲島 日出男  
「大豆粉懸濁液を使用した新規ヨーグルト様食品の開発」

##### ③ 神奈川県ものづくり技術交流会への参加

令和元年10月30日(水)

- ・技術支援室 電気・電子技術担当 専門研究員 本多 春樹  
「埼玉県内中小企業の工場スマート化支援の取り組み」

##### (2) 発表者受け入れ(SAITEC オープンラボ)

##### ① SAITEC オープンラボ:令和元年9月26日(木)

東京都	1名
神奈川県	1名
千葉県	1名
富山県	1名

### 5.3.4 産業交流展 2019 への参加

- (1) 期日:令和元年 11 月 13 日(水)～11 月 15 日(金)  
 (2) 場所:東京ビッグサイト

### 5.3.5 パートナー・グループ事業

- (1) TKF デザインパートナーグループ会議

年月日	場所	参加者
R2.3.26	(公財)神奈川産業振興センター	事業化支援担当 赤坂 拓郎、大沼 勇樹

### 5.3.6 TKFミニインターンシップ事業

- (1) 研究者派遣

派遣元	派遣先	期間・人日	内容
北部研究所 食品プロジェクト担当 仲島日出男、樋口誠一	長野県工業技術総合センター	R1.6.18 2 人日	食品加工分野
北部研究所 食品・バイオ技術担当 常見崇史 食品プロジェクト担当 成澤朋之	長野県工業技術総合センター	R1.6.18 2 人日	機器分析
化学技術担当 焼田裕之、荻野倭子	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	R1.9.4 2 人日	材料分析・評価
電気・電子技術担当 本多春樹	群馬県立群馬産業技術センター	R1.11.19 1 人日	AI による画像解析
材料技術担当 清水宏一、鳥羽遼子、 上杉卓矢	横浜市工業技術支援センター	R2.1.14 3 人日	表面処理技術
北部研究所 材料・機械技術担当 高橋勝	(地独)東京都立産業技術研究センター	R2.2.10 1 人日	評価試験
機械技術担当 南部洋平、増子陽一、 田中拓也、横山雄哉	千葉県産業支援技術研究所	R2.3.2 4 人日	金属 3D プリンタ

- (2)研究者受入

派遣元	派遣先	期間・人日	内容
(地独)東京都立産業技術研究センター	材料技術担当 上杉卓矢	R1.10.17 2 人日	材料技術
栃木県産業技術センター	材料技術担当 清水宏一、麻生信之、鳥羽遼子、上杉卓矢	R1.11.14 2 人日	耐候性評価

### 5.3.7 広域首都圏輸出製品技術支援センター(略称:MTEP)

首都圏の公設試が連携して実施する中小企業の海外展開支援サービスで、国際規格や海外の製品規格についての相談や情報提供、海外の製品規格に適合した評価試験について技術的な支援を実施するもので、平成 24 年 10 月 24 日 (地独)東京都立産業技術研究センター内に開所し、令和元年度は以下の事業を行った。

- (1) 県内企業の利用実績 308 件[機器利用・依頼試験を含む]  
 うち、専門相談員による相談指導 3 件

- (2) 事務局会議、運営委員会  
 ・令和元年10月10日(木) 東葛テクノプラザ  
 ・令和2年3月 書面会議

(3) MTEP パートナーグループ活動

- ・EMC パートナーグループ会

年月日	場所	参加者
R2.1.31	(国研)産業技術総合研究所	電子・電気技術担当 香西 良彦

5.3.8 地域未来投資促進法に基づく連携支援事業

関東地域のものづくり中小企業の次世代自動車産業への参入にむけて、首都圏公設試連携体(TKF)を構成する首都圏1都3県1市の公設試験研究機関を中心とする10の産学官金の各機関が連携して、製品開発から販路開拓までの一貫した支援を実施した。

次世代自動車産業への参入により、これまでの画一的な市場に向けた「ものづくり」から脱却し、ユーザーエクスペリエンス等の高い付加価値製品を作る「コトづくり」への転換を図る企業を包括的に支援した。

(1) 事業推進会議の開催

- ・第1回 令和元年12月5日(木) (地独)東京都立産業技術研究センター  
 ・第2回 令和2年2月6日(木) パシフィコ横浜

(2) 事業普及活動

連携支援事業の活用法を紹介するとともに、パンフレットやチラシを配布した。

- ・令和元年9月26日 SAITECオープンラボ 埼玉県産業技術総合センター  
 ・令和元年10月30日～11月1日 KISTEC Innovation Hub 2019 (地独)神奈川県立産業技術総合研究所  
 ・令和元年11月13日～15日 産業交流展2019 東京ビッグサイト  
 ・令和2年1月29日～30日 彩の国ビジネスアリーナ さいたまスーパーアリーナ  
 ・令和2年2月5日～7日 テクニカルショウヨコハマ2020 パシフィコ横浜

5.4 RINGS NET (新潟、群馬、埼玉 3県公設試連携)

新潟県、群馬県及び埼玉県の工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することを目的に設立し、下記の事業を行った。

5.4.1 担当分野別交流会等の開催

(1) 上信越公設研ネット機関長会議(オブザーバー参加)

- ・令和元年6月 第1回書面会議



## 5.5 講演会等講師派遣

### ◆本所

年月日	名称	会場	内容	講師
R1.5.16	埼玉大学大学院博士前期課程講義「技術者のための産業経営論」	埼玉大学	「技術者のための産業経営論」講義	中村 雅範
R1.5.17	砥粒加工学会北陸信越地区部会 先端加工フォーラム2019	金沢工業大学	主催:砥粒加工学会北陸信越地区部会 内容:振動ドリルによる難削材への微細深穴加工	南部 洋平
R1.5.30	第24回計算工学講演会 第7回シンポジウム「地域密着型CAEの取り組みー公設試験研究機関のCAE活用最新動向」	大宮ソニックシティ	(一社)日本計算工学会 公設試験研究機関のCAE活用最新動向	白石 知久
R1.6.11	日本ダクタイル鋳鉄協会 第2回研究委員会	東京都北区立赤羽会館	日本ダクタイル鋳鉄協会 「X線透過試験結果の見方と留意点」	永井 寛
R1.6.21	埼玉大学大学院博士前期課程講義「技術者のための産業経営論」	埼玉大学	「技術者のための産業経営論」講義	中村 雅範
R1.6.27～28	第22回鋳鉄品の超音波試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総合センター	主催:日本鋳造工学会 日本鋳造協会 内容:二日間の日程で座学、実習及び筆記試験、実技試験 「実習Ⅰ」「実習Ⅱ」「実習Ⅲ」「実習Ⅳ」「実習Ⅴ」	永井 寛
R1.7.26	3D-CAD& 3Dプリンター無料研修	埼玉大学	埼玉大学・ 3Dプリンタの造形方法と特徴の紹介	南部 洋平 田中 拓也 横山 雄哉
R1.9.2～6	2019 年度鋳造カレッジ・鋳鉄コース・関東地区インターンシップ	ものづくり大学	(一社)日本鋳造協会 鋳造人材育成のためのインターンシップ(溶解・非破壊評価・組織観察法の実験実習及び講義)	永野 正明 永井 寛
R1.9.20	3D-CAD& 3Dプリンター無料研修	埼玉大学	埼玉大学・ 3Dプリンタの造形方法と特徴の紹介	南部 洋平 田中 拓也 横山 雄哉
R1.10.18	産学連携技術シーズ発表会	新都心ビジネス交流プラザ	主催:産学連携支援センター埼玉 内容:低周波振動ドリルによる微細深穴加工	南部 洋平
R1.10.28	山梨県工業技術センター職員向け研修会	山梨県工業技術センター	AI・IoT 研修	中村 雅範 白石 知久
R1.11.22	3D-CAD& 3Dプリンター無料研修	埼玉大学	埼玉大学・ 3Dプリンタの造形方法と特徴の紹介	南部 洋平 田中 拓也 横山 雄哉
R1.11.23	第15回日本シーティング・シンポジウム	首都大学東京	車椅子シーティングに関連するISO規格の開発	半田 隆志
R1.11.28 ～29	第23回鋳鉄品の超音波試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総合センター	主催:日本鋳造工学会 日本鋳造協会 内容:二日間の日程で座学、実習及び筆記試験、実技試験 「実習Ⅰ」「実習Ⅱ」「実習Ⅲ」「実習Ⅳ」「実習Ⅴ」	永井 寛

年月日	名 称	会 場	内 容	講 師
R1.12.5	日立SEM基礎セミナー 2019(埼玉)	埼玉県産業技術総合センター	主催:(株)日立ハイテクノロジー 内容:埼玉県産業技術総合センターの紹介	鈴木 昌資
R2.2.4	IT・IoT・AI活用セミナー	三郷市商工会館	主催:三郷市商工会 中小製造業向けのIT・IoT・AIの説明と支援・導入例の紹介	福島 泰年
R2.2.21	3D-CAD& 3Dプリンター無料研修	埼玉大学	埼玉大学・ 3Dプリンタの造形方法と特徴の紹介	田中 拓也 横山 雄哉

◆北部研究所

年月日	名 称	会 場	内 容	講 師
H31.4.1～5, 8～12, 15～ 19, 22～26	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	酒造実習	横堀 正敏 樋口 誠一 和田 健太朗 齋藤 健太
R1.5.15,22	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	微生物実習	横堀 正敏 樋口 誠一 和田 健太朗 齋藤 健太
R1.7.2	女子栄養大学 食品開発・品質管理概論 特別講義	女子栄養大学坂戸キャンパス	小麦の加工と品質評価技術について	小島 登貴子
R1.7.3	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	きき酒実習	横堀 正敏 樋口 誠一 和田 健太朗 齋藤 健太
R1.7.5	人生の先輩に学ぶ	さいたま市立大宮八幡中学校	これまでの歩みと業務内容について	富永 達矢
R1.7.25	工業高校分析実習	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	清酒の一般成分分析	横堀 正敏 樋口 誠一 和田 健太朗 齋藤 健太
R1.8.23	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	実技試験事前練習	樋口 誠一 和田 健太朗 齋藤 健太
R1.11.19	令和元年度酒造講話会	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	研究成果報告他	齋藤 健太 樋口 誠一 横堀 正敏
R1.12.9	令和元年産さけ武蔵生産組合生産者会議	初かり亭	消化性予測、分析結果	齋藤 健太
R2.2.6	吟友会県内視察	新井武平商店、藤崎惣兵衛商店	製造技術他	横堀 正敏 齋藤 健太

## 5.6 審査会等への派遣

### ◆本所

年月日	審査会等名	会場	出席者名
H31.4.1～ R2.3.31	新エネルギー・産業技術総合開発機構「2019年度課題解決型福祉用具実用化開発支援事業」書面審査	オンライン	半田 隆志
H31.4.1～ R2.3.31	新エネルギー・産業技術総合開発機構「研究開発型ベンチャー支援事業／NEDO NEP」書面審査	オンライン	半田 隆志
H31.4.1～ R2.3.31	新エネルギー・産業技術総合開発機構「研究開発型ベンチャー支援事業／シード期の研究開発型ベンチャーに対する事業化支援」書面審査	オンライン	半田 隆志
R1.5.27	埼玉県航空・宇宙産業事業化支援補助金審査会	新都心ビジネス交流プラザ	福島 泰年
R1.5.28～30	「埼玉県中小企業ものづくりAIトライアル補助金」にかかる現地審査及びヒヤリング審査	応募者の計画実施場所	鈴木 浩之 本多 春樹 岡崎 祥吾
R1.5.30	埼玉県医療機器等事業化支援補助金審査会	新都心ビジネス交流プラザ	細野 光広
R1.6.3	AI活用機器開発補助金審査	埼玉会館	中村 雅範
R1.6.4	地域経済牽引事業創出補助金審査	埼玉県県民健康センター	中村 雅範
R1.6.5	AIトライアル補助金審査会	産学交流プラザ	細野 光広
R1.6.7	次世代産業拠点整備企画審査会	埼玉会館	中村 雅範
R1.6.7	埼玉大学産学官連携協議会総会	浦和コルソホール	中村 雅範
R1.6.10, 20, 12.18	埼玉県産業振興公社研修事業審査会	産学交流プラザ	細野 光広
R1.6.13～14	埼玉県ものづくり技術・製品開発支援補助金審査会	埼玉教育会館	細野 光広
R1.6.28	草加市研究開発型企業育成部門補助金審査会	草加市役所	福島 泰年
R1.7.3	令和元年度技能検定(鋳鉄鋳物鋳造作業)審査会	埼玉県産業技術総合センター	菊池 和尚
R1.7.3	先端産業課・埼玉県補助金評価業務審査会	埼玉会館	細野 光広
R1.7.13	電子情報通信学会基礎・境界サイエティ学術奨励賞選定委員会	オンライン	半田 隆志
R1.8.2, 9.3	川口市産業技能者顕彰審査会	川口市会議室	細野 光広
R1.8.8	川口新製品等開発振興奨励審査会	埼玉県産業技術総合センター	福島 泰年
R1.8.18	SADECOデザインコンペティション2019	埼玉県産業技術総合センター	福島 泰年
R1.9.5	埼玉県優良技能者認定審査会	教育会館	細野 光広
R1.9.24	川口新製品等開発振興奨励審査会	メディアセブン	福島 泰年
R1.10.4	澁澤栄一ビジネス大賞一次審査会	新都心ビジネス交流プラザ	福島 泰年
R1.10.9	第55回埼玉県鋳造技術コンクール審査会	埼玉県産業技術総合センター	細野 光広
R1.10.9	川越ものづくりブランドKOEDO E-PRO認定審査会	東洋大学 川越キャンパス	福島 泰年
R1.10.11	彩の国優良ブランド品認定審査会	ソニックシティ	細野 光広
R1.10.16	「八潮ブランド」認定評価会	八潮メセナ	福島 泰年
R1.10.19	SADECOデザインコンペティション2019	星亀椅子工房	福島 泰年
R1.10.26	発明創意くふう展審査会	新都心ビジネス交流プラザ	福島 泰年
R1.10.31	渋沢栄一ビジネス大賞審査会	新都心ビジネス交流プラザ	中村 雅範
R1.11.6	第8回鋳造技術コンクール(アルミ)審査会	川口鋳物工業協同組合	細野 光広 菊池 和尚 永井 寛
R1.12.4	世界を変える起業家ビジコン審査会	さいたま市文化センター	中村 雅範
R1.12.6	開放特許を活用した学生アイデア発表会(審査会)	さいしんホール(熊谷)	中村 雅範

年月日	審査会等名	会場	出席者名
R2.2.13	現代の名工推薦審査会	教育会館	細野 光広

◆北部研究所

年月日	審査会等名	会場	出席者名
R1.6.17	埼玉県酒造組合秩父支部初呑切会	秩父地域地場産業振興センター	小島 登貴子 横堀 正敏 和田 健太郎
R1.6.22	高校生ものづくりコンテスト化学分析部門第 11 回 埼玉県大会	埼玉県立川越工業高等学校	奥野 慎 齋藤 健太
R1.7.16	埼玉県酒造組合西部ブロック初呑切	飯能市1丁目倶楽部	横堀 正敏 樋口 誠一
R1.8.9	埼玉県酒造組行田・熊谷支部初呑切会	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	横堀 正敏 樋口 誠一 和田 健太郎 齋藤 健太
R1.8.27	技能検定実技試験 酒造	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	横堀 正敏 樋口 誠一 和田 健太郎 齋藤 健太
R1.9.12	茨城県清酒鑑評会 2019	茨城県産業技術イノベーションセンター	齋藤 健太
R1.9.23	全国きき酒選手権埼玉県大会	パレスホテル大宮	横堀 正敏 樋口 誠一 和田 健太郎 齋藤 健太
R1.10.1~2	第90回関東信越国税局酒類鑑評会 一審	関東信越国税局	齋藤 健太
R1.10.9	第90回関東信越国税局酒類鑑評会 二審	関東信越国税局	横堀 正敏
R1.11.15	第15回熊谷市産業祭農産物共進会(味噌)	熊谷スポーツ文化公園	成澤 朋之
R1.12.5~6	令和元事務年度全国市販酒類調査品質評価	関東信越国税局	樋口 誠一
R2.1.23	技能検定実技試験(パン製造)	(株)ベーカリーシステム研究所	和田 健太郎
R2.1.31	埼玉県ふるさと認証食品「みそ」官能審査	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	成澤 朋之 齋藤 健太
R2.2.8	第5回熊谷発ビジネスプランコンテスト(ファイナリストプレゼンテーション)	熊谷市大里生涯学習センター	小島 登貴子
R2.2.28	農林水産消費安全技術センター 令和元年度食品表示関係調査研究評価委員会	さいたま新都心合同庁舎	小島 登貴子
R2.3.5	埼玉県酒造組合同持ち寄り研究会	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	横堀 正敏 樋口 誠一 齋藤 健太
R2.3.12	群馬県清酒品評会	群馬県立群馬産業技術センター	齋藤 健太

## 5.7 技術評価

新製品開発等の補助金、表彰等に応募した企業の提案課題について技術評価を実施した。

事業名	依頼元	内容
埼玉県航空・宇宙産業事業化支援補助金審査会	先端産業課	補助金審査会
埼玉県医療機器等事業化支援補助金審査会	先端産業課	補助金審査会
埼玉県ものづくり技術・製品開発支援事業補助金審査会	産業支援課	補助金審査会
川越ものづくりブランド KOEDO E-PRO 認定審査会	川越市産業振興課	審査会
草加市研究開発型企業育成部門補助金審査会	草加市産業振興課	補助金審査会
草加モノづくりブランド認定審査会	草加モノづくりブランド実行委員会	審査会
川口新製品等開発振興奨励審査会	川口市産業振興公社	奨励金審査会
川口市産業技能者顕彰審査会	川口市	審査会
「八潮ブランド」認定評価会	八潮市商工観光課	審査会
澁澤栄一ビジネス大賞審査委員会	産業支援課	審査会
埼玉県優良技能者認定審査会	産業人材育成課	審査会
現代の名工推薦審査会	産業人材育成課	推薦者選定
彩の国優良ブランド品推奨審査会	観光課・県物産協会	認定審査会

## 5.8 会議等への参加

### ◆本所

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H31.4.1～ R2.2.9	車椅子試験用ダミーに関するJIS開発委員会	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田 隆志
H31.4.1～ R2.2.9	車椅子試験用ダミーに関するJIS開発分科会	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田 隆志
H31.4.1～ R2.2.9	車いす国際標準分科会	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田 隆志
H31.4.1～ R2.2.9	全身床ずれ防止用具国際標準分科会	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田 隆志
H31.4.1～ R2.2.9	ISO/TC 173国内検討委員会	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田 隆志
H31.4.1～ R2.2.9	馬乗り形電動車椅子JIS原案作成委員会	日本規格協会	半田 隆志
H31.4.14～18	ISO/TC 173/WG 11会議	デンマーク規格協会	半田 隆志
H31.4.19	埼玉県ナノカーボンプロジェクト事業説明会	新都心ビジネス交流プラザ	出口 貴久 小熊 広之 鶴菌 大 小林 達哉 周 雲帆 宗形 隆史 山田 岳大
H31.4.22	第 31 回加山記念講演会	日立高輪和彊館	永井 寛
H31.4.23	川口機械工業協同組合 総務委員会	川口機械工業協同組合	宗形 隆史
H31.4.25～ R2.3.31	日本規格協会 ISO SAG Accessibility委員会	日本規格協会	半田 隆志
R1.5.10	埼玉県経営者協会総会	パレスホテル大宮	中村 雅範
R1.5.15	さいしんコラボ産学官総会	パレスホテル大宮	中村 雅範
R1.5.15	埼玉県ナノカーボン研究会「CNT線」	新都心ビジネス交流プラザ	鈴木 昌資 鶴菌 大
R1.5.15	第 34 回鑄造カレッジ合同委員会	機械振興会館	永井 寛
R1.5.17	埼玉県ナノカーボン研究会 (CNF)	新都心ビジネス交流プラザ	小熊 広之 山田 岳大 信本 康男
R1.5.17～19	鑄造工学会・技術講習会、第 173 回全国講演大会	千葉工業大学・津田沼キャンパス	永井 寛
R1.5.20	埼玉県ナノカーボン研究会「EDLC」	新都心ビジネス交流プラザ	菊池 和尚
R1.5.21	埼玉県鍍金工業組合総会	パレスホテル大宮	中村 雅範
R1.5.22	川口機械工業協同組合 総務委員会	川口機械工業協同組合	宗形 隆史
R1.5.24	埼玉県ナノカーボン研究会 (高強度部材)	新都心ビジネス交流プラザ	小熊 広之 山田 岳大 信本 康男
R1.5.24	埼玉県ナノカーボン研究会 (面状発熱体)	新都心ビジネス交流プラザ	小熊 広之 山田 岳大 信本 康男
R1.5.28	草加モノづくりブランド第1回実行委員会	草加商工会議所	福島 泰年
R1.5.30～31	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 第 26 回表面技術分科会	米子コンベンションセンター	鳥羽 遼子
R1.6.3～7	ISO/TC 173/SC 1会議	デンマーク規格協会	半田 隆志
R1.6.6	埼玉県経営合理化協会総会	パレスホテル大宮	増田 文之
R1.6.6～ R2.2.29	ロボット介護機器標準化ISO委員会	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田 隆志

年月日	会 議 名	会 場	出席者
R1.6.6～ R2.2.29	ロボット介護機器通則分科会	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田 隆志
R1.6.7	東日本 FRP 工業会 2019 年総会・研修会	ホテル プリランテ武蔵野	細野 光広 宗形 隆史
R1.6.11	日本複合材料学会 総会	東京大学	小熊 広之
R1.6.11	川口機械工業協同組合 総務委員会	川口機械工業協同組合	宗形 隆史
R1.6.13	第 30 回プラスチック成形加工年次大会	タワーホール船堀	山田 岳大
R1.6.18	埼玉県プラスチック振興会 定期総会	さいたま市民会館・うらわ	細野 光広 宗形 隆史
R1.6.21	モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会	新都心ビジネス交流プラザ	島崎 景正 信本 康男 都知木 邦裕 横山 雄哉
R1.6.25	創造的異業種交流会総会	大宮サンパレス GLANZ	増田 文之
R1.7.1	スーパーサイエンスハイスクール第1回運営指導委員会	浦和第一女子高等学校	福島 泰年
R1.7.4	TIRI クロスミーティング TKF オープンフォーラム	(地独) 東京都立産業技術研究センター	中村 雅範 宇野 彰一
R1.7.9	第1回次世代自動車技術講演会	新都心ビジネス交流プラザ	島崎 景正 信本 康男 小熊 広之
R1.7.9～10	令和元年度産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 第25回デザイン分科会	公益財団法人三重北勢地域 地場産業振興センター 他	赤坂 拓郎 大沼 勇樹 中澤 赳史
R1.7.12	埼玉県ナノカーボン研究会	新都心ビジネス交流プラザ	小熊 広之
R1.7.17	川口機械工業協同組合 総務委員会	川口機械工業協同組合	宗形 隆史
R1.7.18	全国新酒鑑評会金賞受賞蔵知事感謝状贈呈式	知事公館	増田 文之
R1.7.22	埼玉県ナノカーボン研究会「EDLC」	新都心ビジネス交流プラザ	菊池 和尚 周 雲帆
R1.7.23	鑄鉄品の評価技術研究部会	日本鑄造工学会会議室	永井 寛
R1.7.24	鑄造設備研究部会	東京工業大学キャンパスイノベーションセンター	永井 寛
R1.7.24	埼玉県ナノカーボン研究会「CNT線」	新都心ビジネス交流プラザ	鈴木 昌資
R1.7.25～26	公立鉦工業試験研究機関長協議会総会	いわて県民情報交流センター	中村 雅範 宇野 彰一
R1.7.29	埼玉県ナノカーボン研究会(CNF)	新都心ビジネス交流プラザ	山田 岳大 信本 康男
R1.7.30	第 1 回 CASE 研究会	群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター	島崎 景正 岩崎 翼 中澤 赳史 山崎 彰太
R1.8.2	産総研テクノブリッジフェア	ラフレさいたま	中村 雅範
R1.8.7	埼玉県AIコンソーシアム総会	新都心ビジネス交流プラザ	中村 雅範 増田 文之 出口 貴久
R1.8.8 R1.8.24	鑄造カレッジ・関東・インターンシップ打合わせ会議	ものづくり大学	永井 寛
R1.8.10	電子情報通信学会福祉情報工学研究会研究専門委員会	宇都宮大学	半田 隆志
R1.8.19～ R2.2.9	ロボット電動車椅子標準化調査委員会	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田 隆志
R1.8.21	“産学連携先端シーズマッチング ～セルロースナノファイバー～”	新都心ビジネス交流プラザ	宗形 隆史
R1.8.23	アクア・ネクサスカーボンプラットフォーム (AxC-PF)キックオフ総会	信州大学長野(工学)キャンパス	鈴木 昌資

年月日	会 議 名	会 場	出席者
R1.8.27	第 100 回日本鑄造工学会・関東支部講演会	日立高輪和彊館	永井 寛
R1.9.3	第 13 回ナノカーボンワーキンググループ全体 会合	堀場製作所 東京セールス オフィス	宗形 隆史
R1.9.8～13	ISO/TC 173会議	早稲田大学	半田 隆志
R1.9.10	さいしんコラボ産学官「技術相談会in川越」	ウエスタ川越	原田 雅典
R1.9.19～20	第110回全国公設鉦工業試験研究機関 事務 連絡会議	山口グランドホテル	田中 英次
R1.9.19～20	APEC supported forum 「 The Role of Standardization in Promoting Employment related to the Silver Economy」	北京	半田 隆志
R1.10.2	自動車関連先端技術情報収集・ネットワーク強 化「ビジネス交流会」	新都心ビジネス交流プラザ	島崎 景正 信本 康男
R1.10.3	令和元年度 第1回広域ビジネス交流会	浦和コロソホール	宇野 彰一 大澤 直幸
R1.10.9	埼玉県ナノカーボンプロジェクト 第 1 回分散・ 評価体験型セミナー	新都心ビジネス交流プラザ	信本 康男
R1.10.10	首都圏公設試連携推進会議、広域首都圏輸出 製品技術支援センター事務局会議	東葛テクノプラザ	中村 雅範 増田 文之 宇野 彰一
R1.10.10～11	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 第 24 回電磁環境分科会および第 29 回 EMC 研究会	北海道立総合研究機構産業 技術研究本部 法人本部セ ミナー室	能戸 崇行
R1.10.11	埼玉県ナノカーボン研究会	新都心ビジネス交流プラザ	山田 岳大
R1.10.16	埼玉県ナノカーボン研究会 (CNF)	新都心ビジネス交流プラザ	宗形 隆史 信本 康男
R1.10.17～18	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロ ニクス部会 情報技術分科会 第13回 音・振 動研究会	鳥取県産業技術センター	落合 一裕
R1.10.18	Phoenix ユーザーカンファレンス 2019	砂防会館別館	鳥羽 遼子
R1.10.21～25	ISO/TC 173/WG 11会議	ドイツ規格協会	半田 隆志
R1.10.23	川口機械工業協同組合 総務委員会	川口機械工業協同組合	宗形 隆史
R1.10.23	「川口の元気経営大賞」表彰式	川口商工会議所	福島 泰年
R1.10.24	第2回IoT推進ラボ連絡会議	新都心ビジネス交流プラザ	出口 貴久 鈴木 浩之
R1.10.28	埼玉県ナノカーボンプロジェクト 第2回分散・評 価体験型セミナー	新都心ビジネス交流プラザ	山田 岳大
R1.10.29	埼玉大学産学官連携協議会	埼玉大学	中村 雅範
R1.10.29	鑄造カレッジ・インターンシップ打ち合わせ会議	川口鑄物工業協同組合	永井 寛
R1.10.29	ロボティクスカーニバル2019 with 電気通信大 学(ロボティクスシーズマッチング)	新都心ビジネス交流プラザ	信本 康男
R1.10.30～31	産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域産 業技術連携推進会議・産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部会 合同総会	ホテルテラス・ザ・ガーデン水 戸	増田 文之 宇野 彰一
R1.11.7～8	産技連 第11回 3Dものづくり特別 分科会	あいち産業科学技術総合セ ンター	田中 拓也
R1.11.7～8	全国公立鉦工業試験研究機関長協議会 第6回知的財産に係る分科会	三重県工業研究所	山崎 彰太
R1.11.11	埼玉県ナノカーボン研究会	新都心ビジネス交流プラザ	小林 達哉
R1.11.12～13	プラスチック成形加工学会第27回秋季大会	サンポートホール高松・かが わ国際会議場・展示場	山田 岳大
R1.11.13～15	第60回電池討論会	京都国際会館	栗原 英紀 稲本 将史
R1.11.14～15	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材 料部会 第 57 回高分子分科会	阿波観光ホテル	山田 岳大



年月日	会 議 名	会 場	出席者
R1.11.14～15	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 組込み技術研究会総会	長崎県庁、長崎県立大学シーボルト校	鈴木 浩之 本多 春樹
R1.11.14～15	令和元年度産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 第26回デザイン分科会	(地独)東京都立産業技術研究センター 本部 及び 産業技術総合研究所 臨海副都心センター 等	影山 和則 赤坂 拓郎 大沼 勇樹
R1.11.18	埼玉県ナノカーボン研究会「CNT 線」	新都心ビジネス交流プラザ	鈴木 昌資 鶴菌 大
R1.11.20	川口機械工業協同組合 総務委員会	川口機械工業協同組合	宗形 隆史
R1.11.22	全国鋳工業試験研究機関事務連絡会議 関東甲信越静岡ブロック会議	静岡県工業技術研究所	田中 英次 鈴木 啓介
R1.11.23	日本シーティング・コンサルタント協会誌「車椅子シーティング研究」編集委員会	首都大学東京	半田 隆志
R1.11.25	2019年度日本鑄造工学会・関東支部 人材育成委員会	かわぐちキャスティ	鈴木 昌資 永井 寛
R1.11.27	埼玉県ナノカーボンプロジェクト 第3回分散・評価体験型セミナー	新都心ビジネス交流プラザ	菊池 和尚 信本 康男
R1.11.29	第30回JSCASTユーザ会	新ダイビル(大阪)	菊池 和尚
R1.11.29	日本車椅子シーティング財団 身体拘束予防ワーキング・グループ外部委員	日本車椅子シーティング財団	半田 隆志
R1.12.2	第15回ナノカーボン先端技術交流会	新都心ビジネス交流プラザ	信本 康男
R1.12.4～6	産業技術連携推進会議 令和元年度知的基盤部会 総会・第48回計測分科会	北九州国際会議場	宗形 隆史 蓮 俊介
R1.12.6	第101回日本鑄造工学会・関東支部講演会	早大理工学部キャンパス	永井 寛
R1.12.10～13	電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーションシンポジウム2019運営委員会(プログラム副委員長)	広島県情報プラザ	半田 隆志
R1.12.11	埼玉県ナノカーボンプロジェクト 第4回分散・評価体験型セミナー	(株)島津製作所 秦野工場	信本 康男
R1.12.12～13	産業技術連携推進会議 令和元年度知的基盤部会 総会・2019年度分析分科会	(公財)神奈川産業振興センター	焼田 裕之 荻野 倭子
R1.12.13	埼玉県ナノカーボン研究会	新都心ビジネス交流プラザ	山田 岳大
R1.12.16	埼玉県ナノカーボン研究会(CNF)	ウェストロ(株)	山田 岳大 信本 康男
R1.12.18	草加モノづくりブランド認定事業第2回実行委員会	草加商工会議所	福島 泰年
R1.12.20	令和元年度川口i-mono/i-wazaブランド認定式	川口商工会議所	増田 文之 福島 泰年
R1.12.24	鑄造品の評価技術研究部会	日本鑄造工学会 事務局	永井 寛
R2.1.20	第60回 産業技術連携推進会議総会	イイノホール&カンファレンスセンター	中村 雅範 宇野 彰一 田中 英次
R2.1.24	令和元年度産技連関東甲信越静岡地域部会計測技術研究会 Kansai-3D実用化プロジェクト(3D3プロジェクトフォローアップ事業) 活動報告会および講演会	TKP ガーデンシティ PREMIUM 秋葉原	南部 洋平 横山 雄哉
R2.1.29	産業技術連携推進会議 令和元年度ナノテクノロジー・材料部会総会等	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター	宗形 隆史 荻野 倭子
R2.2.8	スーパーサイエンスハイスクール第2回運営指導委員会	浦和第一女子高等学校	福島 泰年

年月日	会 議 名	会 場	出席者
R2.2.13	埼玉北部地域技術交流会	早稲田リサーチパークコミュニケーションセンター	中村 雅範 増田 文之 大澤 直幸
R2.2.15	国立障害者リハビリテーションセンター 補装費支給制度における車椅子・座位保持装置機能整理ワーキング・グループ	TKP新宿モリスカンファレンスセンター	半田 隆志
R2.2.16~21	ISO/TC 173/SC 1/WG 11会議	オンライン	半田 隆志
R2.2.18	東日本 FRP 工業会 新年研修会	ホテルブリランテ武蔵野	細野 光広 宗形 隆史
R2.2.20	第3回IoT推進ラボ連絡会議	新都心ビジネス交流プラザ	出口 貴久 鈴木 浩之
R2.2.21	埼玉県ナノカーボンプロジェクト ナノテクノロジー技術交流会	新都心ビジネス交流プラザ	鈴木 昌資 鶴藪 大 菊池 和尚 山田 岳大 信本 康男
R2.3.12	ライフサポート学会フロンティア講演会プログラム委員会	オンライン	半田 隆志
R2.3.26	産技連デザイン分科会関東甲信越静岡ブロック会議/TKF デザインパートナーグループ会議	(公財)神奈川産業振興センター	赤坂 拓郎 大沼 勇樹

◆北部研究所

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H31.4.17	埼玉県米菓研究会理事会	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	横堀 正敏
R1.5.14	埼玉県漬物協同組合第49回通常総会(及び研修会)	埼玉グランドホテル深谷	小島 登貴子
R1.5.16	日本酒造組合中央会関東信越支部第66回通常総会	日本酒造組合中央会	横堀 正敏
R1.5.16	産学連携支援ネットワーク会議(幹事会)	新都心ビジネス交流プラザ	原田 勝利 山川 翔平
R1.5.21	埼玉県吟友会令和元年度通常総会	ヴィアハイツ道玄坂	横堀 正敏
R1.5.22	埼玉県酒造組合第66回通常総会	パレスホテル大宮	小島 登貴子
R1.5.27	埼玉県生麺業協同組合令和元年度第70回通常総会	マロウドイン大宮	荻野 重人
R1.5.29	産業技術連絡推進会議 第52回関東甲信越静岡地域部会 食品・バイオ分科会	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	横堀 正敏 仲島 日出男 常見 崇史
R1.5.30	埼玉醤油工業協同組合令和元年度通常総会	ホテルガーデンパレス	小島 登貴子
R1.5.30	平成31年度前期技能検定実技試験実施打合せ会議	カルタスホール	横堀 正敏
R1.6.17	産学連携支援ネットワーク会議(総会)	新都心ビジネス交流プラザ	原田 勝利 山川 翔平
R1.6.20	埼玉県米菓研究会第29回通常総会	新都心ビジネス交流プラザ	横堀 正敏 齋藤 健太
R1.6.26	埼玉県食品工業協会第55回通常総会	マロウドイン熊谷	荻野 重人
R1.7.17	第1回6次産業化ネットワークミーティング	あけぼのビル	常見 崇史
R1.7.18	全国新酒鑑評会金賞受賞蔵知事感謝状贈呈式	知事公館	小島 登貴子 横堀 正敏 樋口 誠一 和田 健太郎
R1.7.18	スーパーサイエンスハイスクール第1回運営指導委員会	熊谷高等学校	小島 登貴子
R1.8.1~2	平成31年度関東甲信越地区食品醸造研究会	新潟スタジアム	和田 健太郎

年月日	会 議 名	会 場	出席者
R1.8.5	第2回6次産業化ネットワークミーティング	さいたま共済会館	常見 崇史
R1.8.20	埼玉県酒造協同組合第50回通常総会	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	小島 登貴子
R1.8.30	どぶろく「花咲山」試飲会(よこぜどぶろく特区)	ちちぶ農業協同組合(JAちちぶ) 横瀬支店	横堀 正敏 和田 健太郎
R1.9.13	彩の国酒造り学校卒業式	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	小島 登貴子 横堀 正敏 樋口 誠一 和田 健太郎 齋藤 健太
R1.9.24	女子栄養大学食品・メニュー開発実習報告会	女子栄養大学	仲島 日出男 成澤 朋之
R1.9.27	産学連携支援ネットワーク会議(連絡会議)	新都心ビジネス交流プラザ	原田 勝利
R1.10.18	日本ワインに関する酒造技術指導機関情報交換会	中央合同庁舎第4号館	和田 健太郎
R1.10.18	第64回全国酒造技術指導機関合同会議	中央合同庁舎第4号館	和田 健太郎
R1.10.30	第90回関東信越国税局酒類鑑評会表彰式	関東信越国税局	小島 登貴子 横堀 正敏 樋口 誠一 和田 健太郎
R1.10.31	令和元年度全国食品技術研究会	つくば国際会議場(エポカルつくば)	横堀 正敏
R1.11.7	令和元年度埼玉県食品工業協会人材育成研修会	マロウドイン熊谷	小島 登貴子
R1.11.20	埼玉県クラフトビール製造者情報交換会	浦和税務署	横堀 正敏 樋口 誠一 和田 健太郎
R1.11.27	令和元年度後期 技能検定実技試験実施打合せ会議	浦和合同庁舎	和田 健太郎
R1.12.4~6	産業技術連携推進会議 令和元年度知的基盤部会 第48回計測分科会	北九州国際会議場	山川 翔平 笠原 章裕
R1.12.10	産学連携支援ネットワーク会議	新都心ビジネス交流プラザ	原田 勝利
R2.1.24	熊谷うどん新商品開発検討会	熊谷商工会議所	成澤 朋之
R2.2.1	スーパーサイエンスハイスクール第2回運営指導委員会	熊谷高等学校	小島 登貴子
R2.2.13	全国食品関係試験研究場所長会 令和元年度定期総会・第2回役員会	つくば国際会議	仲島 日出男
R2.2.17	第25回埼玉ベンチャーピッチ	新都心ビジネス交流プラザ	横堀 正敏 樋口 誠一
R2.3.15	酒造好適米「山田錦」による“純秩父産”日本酒お披露目会	秩父地域地場産業振興センター	横堀 正敏
R2.3.24	埼玉県クラフトビール製造者情報交換会	川口ブリュワリー	樋口 誠一 和田 健太郎
R2.3.30	令和元酒造年度春季清酒鑑評会表彰式	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	小島 登貴子 横堀 正敏 樋口 誠一 和田 健太郎

## 5.9 次世代自動車支援事業の運営支援

次世代自動車に対し県内中小企業の新規参入や既存企業の技術転用を促進するため、(公財)埼玉県産業振興公社が自動車産業部会を組織したが、その中の各研究会等の運営・開催に対し当センターが支援を行った。具体的には、各研究会に対し下記のとおり担当者を決めて活動した。

### 5.9.1 部会及び各研究会参加企業数

#### (1) 自動車産業部会

部会	参加企業数	時点
自動車産業部会	128 社	R2.3.31

#### (2) 自動車産業部会内の各研究会

研究会	参加企業数	時点
モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会	17 社	R2.3.31

※軽量化研究会は、平成 30 年度をもって終了。

### 5.9.2 研究会等の名称及び担当者一覧表

研究会等		担当者
窓 口		岡林 美由貴、中澤 赳史
技術開発領域	モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会	島崎 景正、常木 裕己、信本 康男、岩崎 翼、高橋 勝

### 5.9.3 各研究会の概要

モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会

年月日	内 容	開 催 場 所	参加社数	参加人数
R1.6.1	第1回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	50	60
R1.9.10	第2回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	37	49
R1.11.13	第3回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	35	41
R2.2.12	第4回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	35	42

## 6 情報提供

当センターの利用を促進し、業務の成果・結果などを公表するため、SAITEC オープンラボ等の開催・各種印刷物の発行やウェブサイト上での情報発信を行った。また、記者発表等を行うことにより、各種メディアに取り上げられた。

### 6.1 技術普及業務

#### 6.1.1 SAITEC オープンラボ

SAITEC (埼玉県産業技術総合センター)の研究・事業成果の展示・発表及び、埼玉県先端産業創造プロジェクトの成果に関する情報提供などを県内企業等に向けて行った。

開催日：令和元年9月26日(木)

会場：埼玉県産業技術総合センター

来場者：84名

内容：SAITEC 及び他県公設試験研究機関、先端産業創造プロジェクトの成果発表、ポスター展示、講演、施設見学会、デザイン相談会

##### (1)研究成果発表

○SAITEC 職員による発表 7テーマ [内容は3.3.1項を参照]

○他県公設試からの発表 4テーマ (東京都、神奈川県、千葉県、富山県)

○SAITEC 職員によるスマートものづくり支援取組み紹介 1テーマ

##### (2)講演

○テーマ 「～正しい“思考プロセス”が、企業の未来を創る～  
「観察」による潜在的ニーズ・課題の抽出・分析と、ビジネスへの活用」

(同)リアル・アイズ 代表社員 越野 孝史 氏

○テーマ 「デジタル技術で変わるものづくり」

(株)デジネル 代表取締役 原 雄司 氏

##### (3)施設見学会

(4)成果展示会 (SAITEC、先端産業創造プロジェクト、埼玉大学、TKF 支援事例等)

#### 6.1.2 SAITEC 北部研究所研究成果発表会

当研究所の研究成果・開発事例を発表し、これからの食品開発の方向性の講演及び、新規導入機器の紹介を行った。

開催日：令和元年10月18日(金)

会場：埼玉県産業技術総合センター北部研究所

来場者：69名

内容：SAITEC の研究成果の発表、IoT 利用技術研究会、講演及び新規導入機器の紹介

(1)研究成果発表 3テーマ[内容は3.3.1項を参照]

(2)IoT 技術を活用した高付加価値食品開発事例紹介

(3)講演

テーマ「新たな冷凍技術や食感評価を活かした新商品開発」

講師 岐阜大学 応用生物科学部 教授 西津 貴久 氏

(4)新規導入機器の紹介「クリーブ試験装置」

#### 6.1.3 研究報告

研究報告 第17巻(平成30年度) 令和元年12月発行(Web上)

### 6.2 利用促進

#### 6.2.1 業務報告

平成30年度 業務報告 令和元年9月発行(Web上)

#### 6.2.2 インターネットによる技術情報の提供

##### (1) ウェブページ

当センターのインターネットウェブページで主に以下の内容について情報提供した。

- ・平成15年度～平成30年度研究報告
- ・依頼試験の案内、開放機器の案内、開放機器研修日程
- ・技術アドバイザー制度の案内、技術アドバイザーデータベース

- ・ 貸会議室、貸研究室
- ・ 研修会、講演会等開催の案内
- ・ 他機関の各種支援情報
- ・ セミナー、講習会情報
- ・ 新規導入機器の紹介

## (2) メールマガジン等

県内中小企業の新技術・新製品の開発を支援するため、当センターに関連する産業情報をメールマガジンにより迅速に発信した。

発行回数 17回(定期発行12回 臨時発行5回)

また、電子メールによる「インターネット技術相談窓口」には2,064件の問い合わせがあった。

### 6.2.3 記者発表

年月日	タイトル
R1.5.10	埼玉県産業技術総合センターと東日本電信電話株式会社がAI活用支援のための共同検証事業を実施ー中小企業が導入可能なAI活用策の確立を目指しますー
R1.9.13	「令和元年度 SAITEC(サイテック)オープンラボ」を開催します！ ～中小企業に訪れる、ものづくりの変化を考える～
R1.10.1	「中小企業向けIoT・AIツール展示会」を開催
R1.10.3	産業技術総合センター北部研究所の研究成果発表会を開催 ～新製品開発の事例や食品製造へのIoT技術の活用等を紹介～
R2.1.23	SAITEC 北部研究所と県内中小企業が米粉100%のパンを商品化 ー次世代型ものづくり製品開発支援事業の成果ー

### 6.2.4 マスメディア報道

#### (1) 新聞報道

年月日	新聞名	内容
H31.4.18	日経産業新聞	絹織物「秩父銘仙」世界に
R1.5.13	産経新聞	NTTとAI活用支援で連携(記者発表に対応する記事)
R1.5.16	日本経済新聞	NTTとAI活用支援で連携(記者発表に対応する記事)
R1.5.21	日経産業新聞	NTTとAI活用支援で連携(記者発表に対応する記事)
R1.5.30	日刊工業新聞 第2部	埼玉県特集(センター長メッセージ)
R1.6.1	日本経済新聞	商品企画のデザイン塾
R1.6.18	埼玉新聞	東日本FRP工業会総会
R1.7.4	日刊工業新聞	3Dプリンター活用特集(センター長談話)
R1.7.10	日本経済新聞	埼玉の強み「みたけ食品工業」(発酵ぬか床)
R1.8.1	北日本新聞	富山県産業技術開発センター テクノシンポジウム
R1.9.5	日経産業新聞	エッジコンピューティング
R1.9.18	日刊工業新聞	SAITEC オープンラボ(記者発表に対応する記事)
R1.9.19	埼玉新聞	彩の国酒造り学校卒業式
R1.10.4	日刊工業新聞	IoT・AIツール展示会の開催(記者発表に対応する記事)
R1.10.9	日刊工業新聞	北部研究所 研究成果発表会(記者発表に対応する記事)
R1.10.25	食品経済新聞	電動白菜頭部結束機デモンストレーション
R1.10.28	食料新聞	電動白菜頭部結束機デモンストレーション
R1.10.29	毎日新聞	西武文理大学 創立20周年記念シンポジウム
R1.10.30	食品流通新聞	電動白菜頭部結束機デモンストレーション

#### (2) その他雑誌報道

年月日	雑誌名	内容
R1.5	月刊事業構想	ICT導入支援で生産性向上
R1.6	Yano E plus 6月号	製造現場のIoT活用の支援
R1.10	アクセス埼玉 10月号	中小企業向けIoT・AIツール展示会

## 7 起業化支援

起業家や新事業分野に進出する中小企業を技術・経営両面から支援するため、研究開発のスペースとして貸研究室22室を設置している。

### 7.1 入居企業

#### (1) 貸研究室(令和元年度実績)

No.	入居者名	住所	分野	備考
1	クエスト(株)	川口市	IT	2室利用
2	(株)オブセル	さいたま市	光学機器	
3	(株)IDレーザー	川口市	工業製品	
4	日本ジーンウィズ(株)	川口市	バイオ産業	3室利用
5	ナノサミット(株)	川口市	工業製品	R1.12.14 退去
6	(株)エッジテック	さいたま市	工業製品	H31.4.1 入居
7	(株)JFR	東京都練馬区	工業製品	
8	玉置電子工業(株)	川口市	産業機器	2室利用
9	(株)サンエー	広島県三次市	工業製品	
10	エルケム・ジャパン(株)	東京都千代田区	工業製品	
11	(株)アニモス	川口市	バイオ産業	
12	KFケミカル(株)	東京都港区	工業製品	3室利用
13	(株)分散材料研究所	戸田市	工業製品	

### 7.2 支援実績

	支援内容	利用企業数	利用件数
1	センター研究員による技術相談	6企業	10件
2	インキュベーション・マネージャーによる経営相談	14企業	111件
3	依頼試験の利用を通じた技術支援	0企業	0件
4	開放機器の利用を通じた技術支援	5企業	33件
5	試作加工室の提供	7企業	89件
6	各種情報提供(セミナー、助成金、展示会など)	提供件数:47件	

## 8 人材育成

県内中小企業等の人材を育成するため、研修生の受け入れ等を行った。また、技術競技会における表彰を行った。

### 8.1 研修生の受け入れ

#### 8.1.1 中小企業等研究者養成研修事業

県内中小企業等の研究者及び技術者の資質の向上を図り、その技術力、研究開発力を強化することを目的として、研修生を受け入れた。

##### ◆本所

期 間	機関名	受け入れ人数	日 数	担当者
R1.8.5～R2.2.26	埼玉大学	3	49	戦略プロジェクト推進担当 栗原 英紀
R2.3.16～R2.3.25	東洋大学	2	3	戦略プロジェクト推進担当 稲本 将史
本 所 計		5	52	

##### ◆北部研究所

期 間	機関名	受け入れ人数	日 数	担当者
R1.5.11～R2.3.9	歯科医院	2	10	事業化・製品開発支援担 当 高橋 広子
R1.8.8～R1.8.30	女子栄養大学	2	4	食品プロジェクト担当 成澤 朋之
R2.2.17～R2.2.21	女子栄養大学	6	4	食品プロジェクト担当 成澤 朋之
北部研究所 計		10	18	

##### ◆合計

	受け入れ実績	
	人数	日数
本 所	5名	52日
北部研究所	10名	18日
合 計	15名	70日

#### 8.1.2 2019年度鑄造カレッジ事業(関東地区)インターンシップ

テーマ	技術と経営力を持つ次世代鑄造人材の育成を目的に行われた下記概要の鑄造カレッジ・関東地区インターンシップ事業について、開催内容・カリキュラムの検討、講師選定、講師派遣により、その実施を支援した。
概 要	(1) ねずみ鑄鉄の熱分析と接種及びその評価 (2) 球状黒鉛鑄鉄の球状化处理とフェーディング及びその評価
場 所	ものづくり大学
期 間	令和元年9月2日～9月6日
参加人数	20名



## 8.2 技術講習会、講演会等の開催

県内中小企業等の研究者や技術者に対し、技術講習会、講演会等を開催した。

### ◆本 所(主催事業)

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
R1.5.16	第561回埼玉県鋳物技術講演会	川口鋳物工業協同組合	題目:ある鋳鉄製品開発の記録 石原技術士事務所 工博・技術士 石原 安興 氏	41
R1.5.22	SOLIDWORKS凄技マニア&3次元CAD・CAE操作体験セミナー	埼玉県産業技術総合センター	Solid works の具体的な活用手法の解説と操作体験 (株)TEK 長谷山 良典 氏ほか	16
R1.6.4、6.6、6.7	第249回埼玉県鋳物技術講習会	川口鋳物工業協同組合	全体テーマ「技能検定のための鋳造技術の基礎知識」 6/4 「Part I」 (株)永瀬留十郎工場 技術顧問 永瀬 勇 氏 6/6 「Part II」 伊藤鉄工(株)取締役製造本部長 岡崎 清治 氏 6/7 「Part III」 ものづくり大学 名誉教授 鈴木 克美 氏	113
R1.6.14	令和元年度商品企画デザイン塾特別セミナー	埼玉県産業技術総合センター	「デザイナーの目線」 (株)アルナ代表取締役社長:雪山 大 氏 MITSUBOSHI DESIGN:三星 安澄 氏	37
R1.7.4	令和元年度商品企画デザイン塾	埼玉県産業技術総合センター	第1回「商品開発とデザインの関係」 デザインの全体像をつかむ (株)小鳥来 古庄デザイン事務所 古庄 良匡 氏	19
R1.7.26	令和元年度商品企画デザイン塾	埼玉県産業技術総合センター	第2回「企画のデザイン」 マーケティング・ブランディングの視点から 商品企画を見直す (株)小鳥来 古庄デザイン事務所 古庄 良匡 氏	19
R1.7.30	3次元CAD/CAE操作体験セミナー	埼玉県産業技術総合センター	Solid worksの体験と3次元CADについての解説 (株)TEK 長谷山 良典 氏ほか	7
R1.8.23	グローバルスタンダード電気電子機器組み立てにおける標準化～海外展開に向けてIPCとその標準規格の概要紹介～	埼玉県産業技術総合センター	IPC の標準規格の概要の紹介・解説 (株)ジャパンユニックス 河野 友作 氏 (株)ジャパンユニックス 若林 敏夫 氏	15
R1.9.12、9.19	第250回埼玉県鋳物技術講習会	川口鋳物工業協同組合	全体テーマ:電気炉溶解の保守と管理の実際 — 溶解実務のポイントをつかもう! — 9/12 題目:鋳鉄溶解の管理ポイント— 良い溶湯及び良い材質を作るためにはどうすべきか— 講師:(株)IJTT シニアエキスパート 古里 憲明 氏 9/19 題目:電気炉の安全操業 講師:(株)タイチク 取締役 末川 義和 氏	109

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
R1.9.18	令和元年度商品企画デザイン塾	埼玉県産業技術総合センター	第3回「アイデアの視野を広げる」 自社技術起点になりがちなアイデアの壁を乗り越える 石田和人デザインスタジオ 石田 和人 氏	15
R1.9.24	3次元CAD/CAM/CAE操作体験セミナー	埼玉県産業技術総合センター	Solid worksの体験と3次元CADについての解説 (株)TEK 長谷山 良典 氏ほか	10
R1.10.10	第562回埼玉県鋳物技術講演会	埼玉県産業技術総合センター	題目:「球状黒鉛鋳鉄におけるZr含有接種剤の黒鉛粒数増加メカニズム」 日立金属(株)冶金研究所 研究員 山根 英也 氏	38
R1.10.16	令和元年度商品企画デザイン塾	埼玉県産業技術総合センター	第4回「アイデアを生み出す」 自社技術とユーザー視点のアイデアの重なりを探る 石田和人デザインスタジオ 石田 和人 氏	14
R1.11.6	令和元年度商品企画デザイン塾	埼玉県産業技術総合センター	第5回「アイデアを形に落とし込む」 デザイナーと対話しながらアイデアを形にする 石田和人デザインスタジオ 石田 和人 氏	14
R1.11.20	3次元CAD操作体験セミナー	埼玉県産業技術総合センター	Solid worksの体験と3次元CADについての解説 (株)TEK 長谷山 良典 氏ほか	10
R1.11.21	第55回埼玉県鋳造技術コンクール講評会・表彰式	埼玉県産業技術総合センター	内容:「第55回コンクール 講評」 講師:埼玉県鋳物技術委員会委員 鈴木 克美 氏 内容:「X線CTによる評価について」 講師:埼玉県産業技術総合センター 菊池 和尚	50
R1.11.28	COMSOL Multiphysics電気めっきセミナー	埼玉県産業技術総合センター	COMSOL Multiphysicsによる電気めっき解析シミュレーションの紹介・解説 計測エンジニアリングシステム(株) 福川 真 氏	12
R1.12.4	令和元年度商品企画デザイン塾	埼玉県産業技術総合センター	第6回「グラフィックデザインの役割」 名刺、広告、web、カタログなど、 紙面構成の基礎を学ぶ MITSUBOSHI DESIGN:三星 安澄 氏	15
R1.12.5~6	第251回埼玉県鋳物技術講習会	川口鋳物工業協同組合	全体テーマ:鋳物砂および鋳型資材の現状とトピックス 12/5 題目:鋳物砂や鋳型の現状と今後の取り組み 講師:(株)瓢屋 技術部長 曾根 孝明 氏 12/6 題目:最近の有機鋳型用副資材の動向 講師:花王クエーカー(株) 開発部 船田 等 氏	74
R1.12.18	令和元年度商品企画デザイン塾	埼玉県産業技術総合センター	第7回「写真の撮り方、質の大切さ」 商品の魅力を引き出すための物撮りワークショップでノウハウを学ぶ 阿部 良寛 氏 MITSUBOSHI DESIGN:三星 安澄 氏	15

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
R2.1.15	令和元年度商品企画デザイン塾	埼玉県産業技術総合センター	第8回「紙面で何を伝えたいのかを考える」 レイアウト、写真、書体で変わるメッセージ性の違いを体感する MITSUBOSHI DESIGN:三星 安澄 氏	10
R2.2.4	X線残留応力測定技術セミナー	埼玉県産業技術総合センター	X線による残留応力の測定技術の解説と実際の測定の体験 パルステック工業(株) 内山 宗久 氏	15
R2.2.4	令和元年度商品企画デザイン塾特別セミナー	埼玉県産業技術総合センター	対談《企業×デザイナー》 「デザイン塾OB企業フォローアップ事業成果発表会」	29
R2.2.5	3次元CAD操作体験セミナー	埼玉県産業技術総合センター	Solid worksの構造解析体験と3次元CADについての解説 (株)TEK 長谷山 良典 氏ほか	10
R2.2.6	第563回埼玉県鋳物技術講演会	川口鋳物工業協同組合	題目:「国家プロジェクトによる砂型積層造形装置 Sand Casting Meister のご紹介」 シーメット(株) 取締役営業部長 荒井 誠 氏	32
R2.3.26	3次元CAD操作体験セミナー	埼玉県産業技術総合センター	Solid worksの体験と3次元CADについての解説 (株)TEK 長谷山 良典 氏ほか	3

◆北部研究所(主催事業)

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
R1.6.6	第1回高付加価値食品開発支援セミナー	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	講演会 ・令和新時代を見据えた食品開発におけるデザイン・マーケティング戦略 ひめの企画/中小企業診断士 姫野 裕基 氏	77
R1.6.6	第1回高付加価値食品開発研究会	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	商品開発事例紹介 ・全国きな粉工業会と女子栄養大学の連携について 女子栄養大学 名誉教授 三浦 理代 氏(専門アドバイザー)	25
R1.7.8	高付加価値食品開発研究会 テーマ検討会	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	第1回商品デザイン検討会 ・今日ここで決めます!自社のウリとお客様 自社の「強み探し」に悩んだら、必 聴です! ひめの企画/中小企業診断士 姫野 裕基 氏	12
R1.7.22	第2回高付加価値食品開発支援セミナー	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	講演会 ・栄養学から考える高齢者向け食品開発のポイント 女子栄養大学 栄養学部 実践栄養学科 教授 石田 裕美 氏	39
R1.7.22	高付加価値食品開発研究会 テーマ検討会	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	高齢者食品検討会 女子栄養大学 栄養学部 実践栄養学科 教授 石田 裕美 氏	17

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
R1.9.6	高付加価値食品開発研究会 テーマ検討会	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	第2回商品デザイン検討会 ・差別化のためのパッケージデザイン pcs.design デザイナー・アートディレクター 久保木 明子 氏 ・アイデアマンでなくても、「技法」でカバーできる商品アイデア発想技法 ひめの企画／中小企業診断士 姫野 裕基 氏	10
R1.10.4	高付加価値食品開発研究会 テーマ検討会	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	第3回商品デザイン検討会 ・思いつきやヒラメキで大丈夫？ ネーミング、ブランディング、キャッチコピー ひめの企画／中小企業診断士 姫野 裕基 氏	12
R1.10.18	食品分析セミナー	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	講演会 ・クリーブ試験装置による食感の見える化 (株)山電 専務取締役 渡邊 洋一 氏	28
R1.10.18	第3回高付加価値食品開発支援セミナー	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	講演会 ・新たな冷凍技術や食感評価を活かした新商品開発 岐阜大学 応用生物科学部 応用生命科学課程 教授 西津 貴久 氏	68
R1.11.7	高付加価値食品開発研究会 テーマ検討会	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	食品冷凍技術検討会 ・食品冷凍技術について 東京海洋大学 特任教授 鈴木 徹 氏	17
R1.11.22	第2回高付加価値食品開発研究会	(株)河村屋 大宮本店	講演・企業視察会、意見交換会 (株)河村屋 代表取締役 染谷 庄一郎 氏	7

## ◆本 所(支援事業)

年月日	名 称	会 場	支 援 内 容 等	参加人数
R1.5.17	埼玉県熱処理技術研究会総会、記念講演会	埼玉県産業技術総合センター	・通常総会 ・記念講演会 「鉄の技術史」 (株)上島熱処理工業所 鶴見 州宏 氏	22
R1.5.29	埼玉県ものづくり研究会総会・講演会	大宮ソニックシティ	・通常総会 ・講演会 「『値決め経営』の極意」 西田経営技術士事務所 代表取締役 西田 順生 氏	28
R1.6.10 6.20 6.25 7.12	埼玉県熱処理技術研究会熱処理技術一初級編一講習会	埼玉県産業技術総合センター 職業能力開発総合 大学校	・講習内容 基本的熱処理、表面硬化法等講義、顕微鏡観察等の実習 ・講師 山方技術士事務所 山方 三郎 氏	23
R1.6.27～28	第22回鋳鉄品の超音波試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総合センター	講師： 埼玉大学名誉教授 加藤 寛 氏 北海道大学名誉教授 野口 徹 氏 日下レアメタル研究所 鹿毛秀彦 氏 日本非破壊検査工業会 後河内薫 氏 日本非破壊検査工業会 上原 昇 氏 (地独)東京都立産業技術研究センター 渡部友太郎 氏 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛	47
R1.10.17	埼玉県熱処理技術研究会実践型熱処理技術講習会	埼玉県産業技術総合センター	・講演 「割れの現象と、その破面の見方」 ・講師 (地独)東京都立産業技術研究センター 中村 勲 氏	18
R1.10.24	埼玉県ものづくり研究会生産性向上支援研修	埼玉県産業技術総合センター	生産性向上のためのQCストーリー・QC手法 (株)日本能率協会コンサルティング プロフェッショナルアドバイザー 藤井 雅司 氏	12
R1.10.30	埼玉県ものづくり研究会生産性向上支援研修	埼玉県産業技術総合センター	生産性向上のためのQCストーリー・QC手法 (株)日本能率協会コンサルティング プロフェッショナルアドバイザー 藤井 雅司 氏	11
R1.11.12	埼玉県ものづくり研究会生産性向上支援研修	埼玉県産業技術総合センター	生産性向上のためのQCストーリー・QC手法 (株)日本能率協会コンサルティング プロフェッショナルアドバイザー 藤井 雅司 氏	10
R1.11.28～29	第23回鋳鉄品の超音波試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総合センター	講師 埼玉大学名誉教授 加藤 寛 氏 北海道大学名誉教授 野口 徹 氏 日下レアメタル研究所 鹿毛 秀彦 氏 日本非破壊検査工業会 後河内 薫 氏 日本非破壊検査工業会 五十嵐 修 氏 (地独)東京都立産業技術研究センター 渡部 友太郎 氏 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛	25

年月日	名称	会場	支援内容等	参加人数
R2.1.21	第12回ものづくり講演会	埼玉県産業技術総合センター	「PCD、CBN工具の活用事例のご紹介」 日進工具(株) 中村 浩明 氏  「3次元計測データの編集・活用技術の紹介」 日本ユニシス・エクセリューションズ(株) 宮部 昇一 氏  「強い現場をつくるために ―ものづくり現場の活性化と人材育成、改善事例―」 ものづくり大学ものづくり研究情報センター センター長 小塚 高史 氏	23

注) 熱処理技術研究会については、5.2 新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)に再掲。

◆北部研究所(支援事業)

年月日	名称	会場	支援内容等	参加人数
R1.5.10	新酒研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	全国新酒鑑評会出品酒 9点 官能評価 個別講評 埼玉県産業技術総合センター北部研究所  担当部長 横堀 正敏 専門研究員 樋口 誠一 主任 和田 健太郎 技師 齋藤 健太	8
R1.7.3	市販清酒研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	きき酒実習 全体講評 埼玉県産業技術総合センター北部研究所  技師 齋藤 健太  講話 関東信越国税局 石渡 英和 氏	37
R1.9.10	清酒研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	出品点数 吟醸酒の部 43点(13場) 純米吟醸酒の部 26点(13場) 純米酒の部 8点(6場) 清酒審査講評 関東信越国税局 池永 敬彦 氏 藏本 晃栄 氏 学識経験者 大橋 勝 氏 石渡 英和 氏 埼玉県産業技術総合センター北部研究所  担当部長 横堀 正敏 専門研究員 樋口 誠一 主任 和田 健太郎 技師 齋藤 健太	24
R1.9.27	吟醸酒研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	パネルディスカッション 「吟醸酒造りの要点」 進行 杜氏会長 滝澤 英之 氏 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 横堀 正敏 講話「製麴の理論と応用」 関東信越国税局 辻井 将之 氏	17

年月日	名称	会場	支援内容等	参加人数
R2.3.19	杜氏酒造研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「吟醸酒の管理と出品について」 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 担当部長 横堀 正敏 「オゾン水」 トヨタ車体グループ、(株)DOT&LINE	14

注) 新酒研究会、市販清酒研究会、清酒研究会、吟醸酒研究会、杜氏酒造研究会については、  
5.2 新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)に再掲。

## 8.3 技術競技会

### 8.3.1 埼玉県鑄造技術コンクール

○第 55 回埼玉県鑄造技術コンクール

鑄造技術の向上は、企業個々の不断の努力と研鑽が重要であり、昨今の諸外国の追い上げや経済環境の急激な変化等によりその重要性は益々高くなってきている。

埼玉県鑄造技術コンクールは、鑄物製造技術の更なるレベルアップを目的に埼玉県と川口鑄物工業協同組合が共同して開催しており、今年で 55 回目になる。課題を設定し高品質かつ正確に作ることを競っている。

今回は、ねずみ鑄鉄部門延べ 14 社、球状黒鉛鑄鉄部門延べ 14 社の参加で行われ、入賞者は次のとおりであった。

受賞工場一覧

ねずみ鑄鉄部門

賞 名	事業所名
埼玉県知事賞	(株)辻井製作所
川口鑄物工業協同組合理事長賞	(株)椿本鑄工
川口市長賞	(株)シグマ製作所
一般社団法人日本鑄造協会会長賞	東洋鑄工(株)
一般財団法人素形材センター会長賞	富和鑄造(株)

球状黒鉛鑄鉄部門

賞 名	事業所名
埼玉県知事賞	(株)永瀬留十郎工場
川口鑄物工業協同組合理事長賞	(株)大六鑄造
川口市長賞	東洋鑄工(株)
川口商工会議所会頭賞	(株)辻井製作所
埼玉鑄物技能士会会長賞	(株)椿本鑄工

特別賞(関東経済産業局長賞)

ねずみ鑄鉄部門	球状黒鉛鑄鉄部門
(株)辻井製作所	(株)辻井製作所

※特別賞はコンクールが節目の 55 回目であることを記念して表彰するものであり、特別賞選考規程に基づき、過去 5 年間の総合成績が最も優秀な企業を表彰している。

○第 8 回鑄造技術コンクール(軽合金)

川口鑄物工業協同組合と川口鑄物技術センターの主催、埼玉県の後援により軽合金部門(アルミニウム合金)のコンクールが行われた。今年で 8 回目となり、10 作品の参加により競われた。出品作品の評価は、審査委員が鑄造方案(鑄造品の作り方)の適切さ、製品の出来栄え、材質、強度特性、歩留り(全鑄込み重量に対する製品部の重量比)の高さ、化学分析などの観点から行われ、入賞した作品の製作者は次のとおりであった。

受賞者一覧

賞 名	製作者名(敬称略)
川口鑄物工業協同組合理事長賞	(株)宮崎合金鑄造所 梶澤 佑哉
川口市長賞	(有)小泉アルミ マートウクク ジョン エルビン アテンデイト
埼玉県産業技術総合センター長賞	(株)飯田合金鑄造所 飯泉 勇也



### 8.3.2 令和元酒造年度春季清酒鑑評会

令和2年3月17日に北部研究所で審査会を実施した。出品点数 75点(17場)

県産清酒の酒質の向上と醸造技術の改善を図り、業界の発展のため鑑評会を行う。最も優秀な成績を収めた酒造会社及び杜氏に埼玉県知事賞を、それに準ずる成績を収めた酒造会社及び杜氏に埼玉県産業技術総合センター北部研究所長賞を授与し、その他で一定の基準を満たし優良であった酒造会社及び杜氏を入賞とした。

令和元酒造年度春季清酒鑑評会受賞者(組合員名簿順)

埼玉県知事賞

酒造場名	酒銘	杜氏名
(株)釜屋	力士	松沼 宏顕 氏

埼玉県産業技術総合センター北部研究所長賞

酒造場名	酒銘	杜氏名
横田酒造(株)	日本橋	横田 耕平 氏

入賞

酒造場名	酒銘	杜氏名
北西酒造(株)	文楽	村上 大介 氏
晴雲酒造(株)	晴雲	吉原 卓夫 氏
武甲酒造(株)	武甲正宗	長谷川 武史 氏
(株)東亜酒造	晴菊	丸山 浩克 氏

## 8.4 科学技術体験学習の実施

### 8.4.1 スーパーサイエンスハイスクール事業

#### ◆本所

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定された浦和第一女子高等学校と連携し、センター職員が講義する7つのテーマを通じて、先端技術との出会いや現場の研究者・技術者と交流を図った。

- (1) 日時 令和元年12月12日(木)
- (2) 場所 埼玉県産業技術総合センター
- (3) 人数 31名(浦和第一女子高等学校1年生)
- (4) 学習内容
  - ① 天然水中のミネラル分の測定
  - ② 鋳物づくり体験学習
  - ③ 大型X線CT装置による非破壊検査体験学習
  - ④ 3Dプリンターのための立体データ作成方法
  - ⑤ 身近な食品や化粧品の熱分析
  - ⑥ 協働ロボットを使う
  - ⑦ センサーをネットワークにつなげてデータを集める

## 9 その他の事業

### 9.1 職員研修

職員の技術力向上に資するため、各種研修会に職員を参加させるとともに、職場研修を実施した。

#### ◆本所

講座名	期 間	研修機関	研修者
イオンクロマト技術説明会	R1.5.17	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	須川 真希代
XPS Basic セミナー 2019	R1.5.22	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	鈴木 昌資 小林 達哉
Aztecセミナー春	R1.5.24	オックスフォード・インストルメンツ(株)	常木 裕己
ICP発光分光分析ユーザースクール	R1.5.31	(株)日立ハイテクサイエンス	荻野 倭子
ANSYS Workbench Mechanical入門セミナー	R1.6.3	サイバネットシステム(株)	田中 拓也 横山 雄哉
ANSYS Workbench Mechanical使いこなしセミナー	R1.6.4	サイバネットシステム(株)	田中 拓也 横山 雄哉
未来工場におけるデータの利活用	R1.6.6	マクニカネットワークス(株)	焼田 裕之
FTIR/ラマンユーザーズフォーラム	R1.6.7	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	灘野 朋美 坂本 大輔
XPS技術講演会	R1.6.7	アルバック・ファイ(株)	常木 裕己
X線回折セミナー(粉末)	R1.6.11~12	東京大学・リガク産学連携室	荻野 倭子
NMR講習会(溶液初・中級)	R1.6.12~14	ブルカー・ジャパン(株)	灘野 朋美 坂本 大輔
組み込みOS実装技術	R1.6.12~14	高度ポリテクセンター	増淵 維摩
COMSOL入門セミナー	R1.6.14	計測エンジニアリングシステム(株)	香西 良彦
溶解度パラメータ(HSP)の基礎と応用	R1.6.17	(株)情報機構	坂本 大輔
X線回折セミナー(薄膜)	R1.6.18	東京大学・リガク産学連携室	佐野 勝
民間企業派遣研修(デザイン職員研修)	R1.6.18~27, 7.11~23	(株)GK設計	大沼 勇樹
アジレント材料分析セミナー	R1.6.20	アジレントテクノロジー(株)	熊谷 知哉
表面技術協会夏季セミナー「表面処理基礎講座(I)」	R1.6.24	(一社)表面技術協会	熊谷 知哉
NI-DAQmxとLabVIEWを使用したデータ収集トレーニングコース	R1.6.24~25	日本ナショナルインスツルメンツ(株)	白石 知久 森田 寛之
材料試験機のデータ信頼性、伸び計の最新技術と装置の維持管理に関するセミナー	R1.6.25	(株)島津製作所	山田 岳大 信本 康男
実習で学ぶ画像処理・認識技術	R1.6.26~27	高度ポリテクセンター	鈴木 浩之
二相流解析紹介セミナー	R1.7.2	CHAM-Japan	鳥羽 遼子
材料解析テクノフォーラム	R1.7.3	(株)日立ハイテク	常木 裕己 小林 達哉
spScantトレーニング	R1.7.4~5	東京貿易テクノシステム(株)	増子 陽一 都知木 邦裕
令和元年度デザイン政策研修	R1.7.5	経済産業省	赤坂 拓郎
マシニングセンタプログラミング技術	R1.7.8~12	ポリテクセンター埼玉	廣島 啓太
生分解性プラスチックの基礎・最新動向と農林・土木・水産資材への応用展開	R1.7.10	(株)情報機構	信本 康男
COMSOL初級ジオメトリ・メッシュセミナー	R1.7.11	計測エンジニアリングシステム(株)	香西 良彦
組込み機器における機械学習活用技術	R1.7.11~12	高度ポリテクセンター	岡崎 祥吾
FT-IRセミナー	R1.7.12	(株)パーキンエルマー・ジャパン	坂本 大輔
解析モデル別専門講習:移動境界モデル(MOFOR)	R1.7.12	CHAM-Japan	鳥羽 遼子

講座名	期 間	研修機関	研修者
硬度・機械特性評価技術セミナー	R1.7.19	(株)東陽テクニカ	小熊 広之
LabVIEW計測器制御コース	R1.7.22～23	日本ナショナルインスツルメンツ(株)	白石 知久 森田 寛之
能力開発セミナー(製品設計のための金属めっき技術)	R1.7.23～24	高度ポリテクセンター	小熊 広之 上杉 卓矢
～精度アップのカギ、接触解析で成功するコツを紹介～ANSYS Workbench Mechanical使いこなしセミナー	R1.7.25	サイバネットシステム(株)	田中 拓也
ふるさとデザインアカデミー	R1.8.1～2, 8.8～9	経済産業省、中小企業庁	赤坂 拓郎
新商品開発支援の進め方	R1.8.6～9	中小企業大学校 東京校	岡崎 祥吾
計算力学の基礎コース	R1.8.20～23	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	田中 拓也
振動試験セミナー	R1.8.27	(株)IMV	廣島 啓太
能力開発セミナー(金属めっき技術の理論と実際)	R1.8.27～28	高度ポリテクセンター	小熊 広之 上杉 卓矢
実習で学ぶ画像処理・認識技術(OpenCV編)	R1.8.29～30	高度ポリテクセンター	鈴木 浩之
玉掛け技能講習	R1.9.3～4	日本クレーン協会	落合 一裕
生産プロセスシミュレーションによる問題発見と改善検証	R1.9.4～5	ポリテクセンター群馬	本多 春樹
第3回研究公正シンポジウム	R1.9.9	日本学術振興会、公正研究推進協会	巻島 秀男
光計測シンポジウム2019	R1.9.12	日本光学測定機工業会	山崎 彰太
マイコンを活用したリアルタイム音響・音声信号処理技術	R1.9.12～13	高度ポリテクセンター	岡崎 祥吾
日本家政学会食品組織部会主催2019年度講演・実習会	R1.9.13	日本家政学会食品組織部会	鶴菌 大
熱分析スクール	R1.9.26～27	リガク(株)	山田 岳大
組み込みLinuxによるネットワークプログラミング技術	R1.9.26～27	高度ポリテクセンター	増渕 維摩
SEMユーザーズミーティング	R1.10.1	日本電子(株)	常木 裕己 小林 達哉
構造CAEの正しい使い方と設計検討の具体的な進め方～CAEの理論の理解から強度評価/剛性評価への適用まで～	R1.10.2	(株)日刊工業新聞社	田中 拓也
EPMAユーザーズミーティング	R1.10.2	日本電子(株)	常木 裕己 小林 達哉
NMRユーザーズミーティング	R1.10.3	ブルカージャパン(株)	灘野 朋美 坂本 大輔 伊藤 幸希
中小企業大学校「公設試験研究機関研究職員研修」	R1.10.8～11	中小企業大学校 東京校	田中 拓也
NMR講習会(固体初級)	R1.10.10～11	ブルカージャパン(株)	灘野 朋美 坂本 大輔
金属材料の理論と実際	R1.10.16～17	高度ポリテクセンター	鶴菌 大
センサーを活用したIoTアプリケーション開発技術	R1.10.23～24	ポリテクセンター埼玉	成田 祐治
Aztec/Live講習会	R1.10.24～25	オックスフォード・インスツルメンツ(株)	小林 達哉
MATLABによるディープラーニング(Deep Learning with MATLAB)	R1.10.24～25	(株)マスワークス	白石 知久 岡崎 祥吾
ANSYS Mechanical APDL入門セミナー	R1.10.28～29	サイバネットシステム(株)	増子 陽一 都知木 邦裕 田中 拓也

講座名	期 間	研修機関	研修者
IoT道場	R1.10.31～11.1	(国研)産業技術総合研究所	本多 春樹
高周波回路設計技術	R1.11.5～6	高度ポリテクセンター	本多 春樹
能力開発セミナー(金属材料の腐食対策)	R1.11.6～7	高度ポリテクセンター	小熊 広之
触媒インフォマティクスシンポジウム	R1.11.12	(国研)理化学研究所、北海道大学、(国研)産業技術総合研究所、(国研)物質・材料研究機構	矢澤 貞春
ウルトラマイクロームワークショップ	R1.11.15	ライカマイクロシステムズ	小林 達哉
ユーザーセミナー:In-form	R1.11.15	CHAM-Japan	鳥羽 遼子
MATLABによる機械学習	R1.11.19～20	(株)マスワークス	白石 知久
表面技術協会夏季セミナー「表面処理基礎講座(Ⅱ)」	R1.11.28	(一社)表面技術協会	熊谷 知哉
CMOSイメージセンサによるカメラシステム技術	R1.11.28～29	高度ポリテクセンター	鈴木 浩之
シングルボードコンピュータ活用によるIoTシステム構築技術	R1.11.28～29	高度ポリテクセンター	成田 祐治
CFD基礎講座-Phoenixesを使った空力解析-	R1.11.29	CHAM-Japan	都知木 邦裕
CFRP/GFRP材料規格の中身とその作成に必要な材料試験法	R1.11.29	(株)日刊工業新聞社	小熊 広之
Linuxによる組込みシステム開発	R1.12.4～6	高度ポリテクセンター	岡崎 祥吾
日立SEM基礎セミナー	R1.12.5	(株)日立ハイテク	鈴木 昌資 鶴藪 大
実習で学ぶソフトウェアPLC活用技術	R1.12.5～6	高度ポリテクセンター	本多 春樹
COMSOL Conference 2019 Tokyo	R1.12.6	計測エンジニアリング(株)	熊谷 知哉 上杉 卓矢
産総研 AI道場	R1.12.9	(国研)産業技術総合研究所	白石 知久
マシニングセンタ加工技術	R1.12.10～13	ポリテクセンター埼玉	廣島 啓太
玉掛け技能講習	R1.12.12～14	日本クレーン協会	宗形 隆史 岩崎 翼
技術者・研究者のための金属材料基礎講座	R1.12.18	(株)日刊工業新聞社	荻野 倭子
イオンビーム試料作成セミナー	R1.12.19	日本電子(株)	常木 裕己 小林 達哉
生分解性プラスチックの高性能・高機能化材料設計と成形加工技術	R1.12.20	(株)技術情報協会	宗形 隆史 山田 岳大
最先端電池技術-2020-	R2.1.21～22	(公社)電気化学会	出口 貴久 稲本 将史
Magicsトレーニング	R2.1.22	マテリアライズジャパン	横山 雄哉
マイコン制御システム開発技術	R2.1.22～24	高度ポリテクセンター	成田 祐治
産技連地域部会計測技術研究会 Kansai-3D実用化プロジェクト活動報告会及び講演会	R2.1.24	(国研)産業技術総合研究所	南部 洋平 横山 雄哉
鋳造・ダイカストシミュレーション技術	R2.1.27～28	ポリテクセンター関西	菊池 和尚
LabVIEWマシンビジョン/画像処理コース	R2.1.27～29	日本ナショナルインスツルメンツ(株)	白石 知久 森田 寛之
RoHS指令等の環境規制と分析技術の最新動向	R2.2.14	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC) (公財)神奈川産業振興センター(KIP)	熊谷 知哉 矢澤 貞春 荻野 倭子
穴加工の最適化技術	R2.2.18～21	ポリテクセンター埼玉	廣島 啓太
自動車の軽量化に向けた異種材料接合技術	R2.2.21	(地独)東京都立産業技術研究センター	佐野 勝 宗形 隆史
疲労強度設計の勘どころ	R2.2.26～28	高度ポリテクセンター	都知木 邦裕

講座名	期 間	研修機関	研修者
CAEを活用した設計に必要な「最適化手法」とそのポイント	R2.2.28	(株)日本テクノセンター	増子 陽一 田中 拓也
プラスチックの強度特性および設計・成形とトラブル防止対策	R2.3.4	(株)日刊工業新聞社	信本 康男
蛍光X線定期講習会	R2.3.4～6	(株)リガク	矢澤 貞春

◆北部研究所

研修機関・講座名	期間	研修機関	研修者
AACCI日本支部講演会	H31.4.19	(株)日本パン技術研究所	仲島 日出男 成澤 朋之
香り・におい分析セミナー	R1.5.17	アジレント・テクノロジー(株)	樋口 誠一 成澤 朋之
食品ハイドロコロイドセミナー2019、食品ハイドロコロイドシンポジウム	R1.5.23～24	食品ハイドロコロイド研究会	常見 崇史
産総研生命工学領域研究発表会講演会	R1.5.28	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター	仲島 日出男 常見 崇史
酒類総合研究所講演会	R1.5.28	(独)酒類総合研究所	樋口 誠一
全国新酒鑑評会製造技術研究会	R1.5.29	(独)酒類総合研究所	樋口 誠一
SEM基礎セミナー(神奈川)2019	R1.6.10	(株)日立ハイテク	金木 祐介
第29回実践きき酒セミナー・清酒編	R1.6.13～14	(公財)日本醸造協会	齋藤 健太
平成30酒造年度全国新酒鑑評会公開きき酒会、第13回全国日本酒フェア	R1.6.15	日本酒造組合中央会	横堀 正敏 和田 健太郎
実践に役立つFT-IRセミナー	R1.6.20	(株)パーキンエルマー・ジャパン	富永 達矢
材料試験機のデータ信頼性、伸び計の最新技術と装置の維持管理に関するセミナー	R1.6.25	(株)島津製作所	高橋 勝
第218回農林交流ワークショップ「メッシュ農業気象データ利用講習会」	R1.6.27～28	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 本部	齋藤 健太
材料解析テクノフォーラム	R1.7.3	(株)日立ハイテク	常見 崇史 秋山 稔
FT-IRサマーセミナー2019	R1.7.9	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	富永 達矢
オリンパス 粗さ測定セミナー	R1.7.12	オリンパス(株)	笠原 章裕
実践に役立つFT-IRセミナー	R1.7.12	(株)パーキンエルマー・ジャパン	常見 崇史 秋山 稔
食品分析セミナー	R1.7.17	日本ウォーターズ(株)	仲島 日出男
メタボロミクスセミナー	R1.7.18	アジレント・テクノロジー(株)	成澤 朋之
実践メタボロミクス講習会	R1.7.19	アジレント・テクノロジー(株)	成澤 朋之
FT-IRサマーセミナー2019	R1.7.25	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	秋山 稔
NDI技術セミナー	R1.7.26	(株)島津製作所	高橋 勝
質量分析フォーラム2019	R1.8.2	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	仲島 日出男 常見 崇史
自動車産業の変革	R1.8.27	CASE研究会	高橋 勝
AACCI日本支部2019年度第1回講演会	R1.9.5	AACCI	仲島 日出男
第43回酒米懇談会	R1.9.6	酒米研究会	齋藤 健太
2019年度食品衛生検査セミナー	R1.9.11	日水製薬(株)	富永 達矢
表面分析セミナー	R1.9.20	千葉大学	秋山 稔

研修機関・講座名	期間	研修機関	研修者
SEMユーザーズミーティング	R1.10.1	日本電子(株)	常見 崇史 秋山 稔 金木 祐介
EPMAユーザーズミーティング	R1.10.2	日本電子(株)	秋山 稔
日本食品分析センター技術成果発表会	R1.10.3	(一財)日本食品分析センター	仲島 日出男 常見 崇史
中小企業大学校「公設試験研究機関研究職員研修」	R1.10.8～11	中小企業大学校 東京校	金木 祐介
味覚センサー活用セミナー	R1.10.11	(株)インテリジェントセンサーテクノロジー	仲島 日出男 常見 崇史
令和元年度清酒酵母・麴研究会講演会	R1.10.15	清酒酵母・麴研究会	樋口 誠一
日本材料学会 第7回フラクトグラフィ講習会	R1.10.15～16	日本材料学会	秋山 稔
令和元年度日本醸造学会大会	R1.10.16～17	日本醸造学会	樋口 誠一 和田 健太郎
グルテン研究会	R1.10.16～17	西日本農業研究センター	成澤 朋之
材料試験ユーザーズセミナー	R1.10.24	日本材料試験技術協会	高橋 勝
スガウエザリング学術講演会	R1.10.24	スガウエザリング技術振興財団	高橋 勝
第90回関東信越国税局酒類鑑評会技術研究会	R1.10.30	関東信越国税局	横堀 正敏 樋口 誠一 和田 健太郎
IoT道場	R1.10.31	(国研)産業技術総合研究所	金木 祐介 笠原 章裕
分析士会第1回特別講演会・見学会	R1.11.8	(公社)日本分析化学会・分析士会	仲島 日出男
日本官能評価学会2019年大会	R1.11.17	(一社)日本官能評価学会	齋藤 健太
エスペック信頼性セミナー2019	R1.11.27	エスペック(株)	高橋 勝
赤外・ラマン技術セミナー2019	R1.11.29	ブルカー・ジャパン(株)	秋山 稔
中小企業大学校「変革の時代を勝ち抜く次世代型中小企業戦略」	R1.12.2～6	中小企業大学校 東京校	高橋 勝
令和元事務年度全国市販酒類調査品質評価(オブザーバー参加)	R1.12.5～6	関東信越国税局	和田 健太郎
日立SEM基礎セミナー 2019(埼玉)	R1.12.5	(株)日立ハイテク	金木 祐介
産総研 AI道場	R1.12.9	(国研)産業技術総合研究所	樋口 誠一
植物科学シンポジウム	R1.12.11	植物科学研究会	成澤 朋之
CGA日本支部第2回講演会	R1.12.13	日本パン技術研究所	仲島 日出男 成澤 朋之
MSユーザーズミーティング	R1.12.18	ヒューリック浅草橋ビル	仲島 日出男 常見 崇史 成澤 朋之
イオンビーム試料作成セミナー	R1.12.19	日本電子(株)	秋山 稔
EDS分析標準セミナー	R2.1.23～24	日本電子(株)	金木 祐介
設計者CAEを活用した振動解析技術	R2.1.30～31	高度ポリテクセンター	山川 翔平
PLCラダープログラム入門セミナー	R2.2.17～18	パナソニック デバイスSUNX(株)	金木 祐介
味トレンドレポートセミナー	R2.2.26	東日本連携センター	樋口 誠一

◆職場研修

名 称	期 日	会 場	参加人数
競争的資金に係る研修会 講師:事業化支援室 巻島秀男	R1.9.30	埼玉県産業技術総合センター	18
競争的資金に係る研修会 講師:事業化支援室 巻島秀男	R1.10.2	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	10
競争的資金に係る研修会 講師:事業化支援室 巻島秀男	R1.11.11	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	4

## 9.2 運営委員会の開催

埼玉県産業技術総合センターの事業・研究業務の効果的な運営を図るため、外部有識者からなる「埼玉県産業技術総合センター運営委員会」を通常年1回開催しているが、新型コロナウイルスの影響で開催を見送った。

### 9.2.1 開催状況

- (1) 令和元年度産業技術総合センター運営委員会  
中止